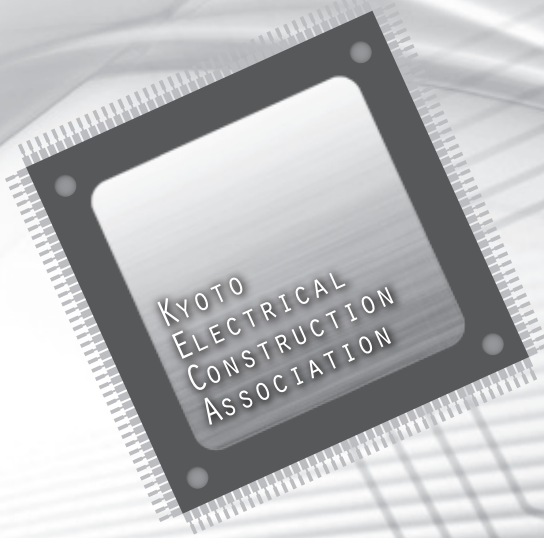


協会広報誌

VOL
71
2022.2



一般社団法人 **京都電業協会**
Kyoto Electrical Construction Association

目 次

新年挨拶 (一社)京都電業協会 木下博之会長	1
新年挨拶 近畿地方整備局 営繕部長 村上幸司様	2
新年挨拶 京都府知事 西脇隆俊様	3
新年挨拶 京都市長 門川大作様	4
協会新年賀詞交歓会 (式典・表彰式)	5
受賞者コメント	9
行政機関との意見交換会	13
表彰受賞	33
事業報告	34
青年部会	38
会員ページ	41
俳句同好会	44

会長年頭挨拶



一般社団法人 京都電業協会 会長 木下 博之

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営に暖かいご理解と格別なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年に引き続き、昨年も新型コロナウイルスが収束せず、コロナ感染症で世界経済、社会生活が大打撃を受け続けた混迷の一年でした。年末11月頃から収束の兆しが見えはじめたことを受け、経済を徐々に廻わそうという機運も高まってきたように感じます。

新年を迎え、感染拡大には十分気をつけながらも、今年こそは、コロナでへこんだ経済を「立て直していくんだ」という強い意志をもって、皆様とともに臨んでいきたいと思えます。

コロナ禍での外出自粛要請による、テレワーク等のデジタル化の進展、働き方改革、世界標準となってきた「SDGs」など、社会の仕組みが大きく変化してきています。

中小企業の企業活動にも、社会の変化とともにこの世界的潮流の波が押し寄せ、一社一社で対応し解決して行くには、大きすぎる課題が課せられてくると思えます。

かねてより、協会会員各社ごとの「自助」努力でできることには限界があり、公が担う「公助」との間をつなぎ、「共助」となる企業間による取り組み・企業間連携を図ることが、協会活動として重要になっている。との考えを表明してまいりました。協会の本分は変わりません。一社一社で対応し、解決して行くには困難な課題に、力を合わせて取り組んでいく。ますますその役割は高まってきていると考えております。

コロナ禍において、中止に追い込まれていた事業も少しずつ動き出しました。安全・安心な地域づくりの一翼を担う、私達の重要で大切な役割である「重要文化財等建造物の電気設備安全点検」も、協会会員各社のご協力を得て再開することができました。

コロナ禍でしたが、次世代を担う若手人材確保や技術力向上・資格取得研修など、一社だけで取り組むことが難しい課題に積極的に取り組んできました。さらに、京都府委託事業で専門分野のスキルを身につけ、雇用を目指す人材教育事業に、協会会員の有志が今できることを自らの手でやってみようと、新しい試みに挑戦してくださいました。これら協会の取り組みは、協会ホームページに掲載し、YouTube 配信により会員企業の皆様へできるだけわかりやすく情報提供しています。そのほか、働き方改革への備えの情報提供等もしています。昨年は、多くの「仲間」が協会に加入いただきましたが、交流機会もなく申し訳なく思っています。今年は、さらなる輪を広げ、会員相互の「絆」を強固なものにしていくことに重点を置き、業界及び協会の発展に一層努めてまいりたいと考えております。

令和4年が、人類がコロナ禍を乗り越え、世界経済も日本経済もV字回復する年となりますことを祈念しております。

結びに、皆さまにとって、本年が素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶



国土交通省 近畿地方整備局
営繕部長 村上 幸司

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人京都電業協会並びに会員の皆様には、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より官庁営繕事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、電気設備工事業における、担い手の確保・育成に積極的に取り組んでこられたことに敬意を表しますとともに、これら事業を今後とも積極的に推進して頂き、建設業界の発展に寄与されますことを期待しております。

また、近年の災害は、年々激甚化の一途を辿っています。これらの危機にスピード感をもって備えるとともに、二次的・副次的な災害にも耐えうる強靱なインフラが求められています。このため国土交通省では、令和3年度から令和7年度の5カ年計画である「防災・減災、国土強靱化の取組」として、災害応急対策活動に必要な官庁施設の電力の確保等の完了を達成目標に掲げ、活動拠点となる官庁施設の自家発電設備、受変電設備の改修等の実施を行うための取組を重点化して対応しております。防災減災対策の推進において、貴協会に対する国民の期待が大きいのと考えています。建設業全体が防災・減災、また被災地の早期復旧に取り組む姿勢は、国民の建設業に対する理解を得るものと確信しておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染拡大による海外ロックダウン等により、機器の納期にも影響が出ていることから、工期の延長も余儀なくされている現状とお聞きしております。近畿地方整備局としましても、その対応として、皆様からの情報を頂き、適切に工期の延長等、1件1件丁寧に対策を講じてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、現在建築分野を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあり、少子高齢化などによる担い手不足や、若手育成の問題などが課題として指摘されております。近畿地方整備局としましても、この課題の解決に向けて、「働き方改革」を一層進め、労働環境を改善し、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

さて、2025年の大阪・関西万博の開催は、近畿において、明るい話題となっております。コロナ禍で疲弊した状況下のなか、今回の万博が近畿地方の元気を取り戻す契機となるよう、微力ではありますが、我々の出来ることを全力で取り組んでおりますので、ご指導の程、よろしくお願い致します。

最後に、電気設備工事の重要な担い手である皆様のご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現



京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見る夢はただの夢だ。みんなで見る夢は現実になる

～A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality～」

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実のものとするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることができる社会を築きたい。そのためには「府民と共に 京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年は寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそう弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

持続可能な財政を確立し、魅力あふれる京都を共に未来へ！改革に邁進します。



京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

貴協会の皆様には、この度の新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、感染拡大防止対策を講じていただきながら、安全・安心な公共工事の推進に多大な御協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

昨年は、医療関係者はじめ市民・事業者の皆様のご御理解の下、医療・検査・相談体制を大幅に強化。ワクチン接種も大きく進みました。そして迎えた新たな年。感染状況を注視しつつ、市会、市民、各界代表の皆様と対話を深め、府市協調で切れ目のないコロナ対策を推進。市民生活・雇用・経済・教育・文化・観光の下支え、回復に全力投球します。

本市ではこれまで、福祉、教育、子育て支援等の分野で、国の水準を上回る施策を展開。それらは、全国トップ水準の福祉、子育て、保育・幼児教育の質の確保や保育所待機児童8年連続ゼロ、小・中学生の学力全国トップレベル、都市格の向上、「SDGs先進度」全国1位等の高い評価につながっています。一方、この間、年間人件費270億円削減をはじめとする行財政改革を推進。経済も活性化し、コロナ前の5年間で市税収入は9%増となり、過去最高を更新しました。

しかし、収支不均衡の構造が長く続く中、国からの地方交付税が大幅に削減され、そこへコロナ禍。本市の財政は今、危機に直面しています。輝かしい京都の未来のため、子どもたちや困難を抱える方々のために、まずは市職員の給与カット等の行財政改革を断行。限られた財源を吟味・再配分し、市民の皆様にご丁寧にご説明しながら、京都ならではの福祉、子育て、教育、安心安全をしっかりと守ってまいります。

防災・減災や社会インフラの維持管理に重要な役割を担う建設業においても、少子高齢化による担い手不足が懸念されています。新・担い手3法を踏まえ、更に魅力あふれる産業となるよう、働き方改革の推進、生産性向上への取組、災害時の緊急対応の充実強化を行ってまいります。

今後、「文化庁」が京都に全面的に移転。政府機関の移転は明治維新後初のことです。さらに、京都駅東部・東南部へ「京都市立芸大」とアート集団「チームラボ」が進出を控えるなど、地域と経済を元気にする創造的なプランが各所で始動しています。先端企業やスタートアップが次々と京都で生まれ、また、拠点置く流れも更に加速させていきます。

魅力と活力ある京都のまち、持続可能な未来へ。覚悟を決めて市民の皆様と共に歩みを進めてまいります。

新年賀詞交歓会（式典・表彰式）

開催日 令和4年1月12日(水)
 場所 京都経済センター「6-B 会議室」

新年を迎えるにあたり、協会新年賀詞交歓会（式典・表彰式）を開催しました。

本年の協会新年賀詞交歓会については今般の情勢を鑑みて、参加者をご来賓・表彰受賞者・協会役員の関係者に限定して人数を制限した上で、懇親会は開催せずに式典並びに表彰式のみ執り行いました。

当日は近畿地方整備局様・京都府様・京都市様にご出席をいただき、木下会長の式辞により開会しました。式典において表彰式を執り行い、引き続き、近畿地方整備局営繕部長様・京都府知事様・京都市長様からご祝辞をいただきました。最後に協会事業の文化財指定等建造物電気設備安全点検に関する報告を行い、閉会となりました。

ご来賓・表彰受賞者

【ご来賓】

国土交通省近畿地方整備局 営繕部	整備課長補佐	杉本 高德	様
京都府建設交通部	営繕課長	壺井 康之	様
京都市産業観光局 地域企業イノベーション推進室	地域企業振興課長	五味 孝昭	様

【永年勤続優良従業員表彰】

京都府知事表彰

東邦電気産業株式会社	丸山 圭司	様
雅電機株式会社	山瀬克世志	様
株式会社京阪電気商会	吉田 正信	様
山科電気工事株式会社	今井 浩幸	様
株式会社デリブ	塩本 力	様
株式会社洛南エンジニアリング	塩田 統史	様
株式会社昭和電工社	正村 淳	様

京都市長表彰

株式会社京阪電気商会	中島 健次	様
宮本電気工事株式会社	石野 昭成	様
日本システム工業株式会社	井上 満夫	様
東邦電気産業株式会社	佐伯 隆左	様
関西シグナルサービス株式会社	長谷川正徳	様

(一社)京都電業協会会長表彰

株式会社山添電気	森下 千春	様
宮本電気工事株式会社	能瀬 信行	様
株式会社アート	谷口 真実	様
雅電機株式会社	高矢 泰史	様
株式会社オリヂナル電設	樺山 資忠	様
東邦電気産業株式会社	山中 篤嗣	様
タキバ電機株式会社	小島 義一	様
株式会社昭和電工社	西野 直人	様

(勤続年数順)

【団体役員功労者表彰】

京都市長表彰

北陵電工株式会社	山本 利廣	様
五島電気建設株式会社	五島 幹也	様



国土交通省近畿地方整備局 営繕部
整備課長補佐 杉本高德様



京都府建設交通部
営繕課長 壺井康之様



京都市産業観光局
地域企業イノベーション推進室
地域企業振興課長 五味孝昭様

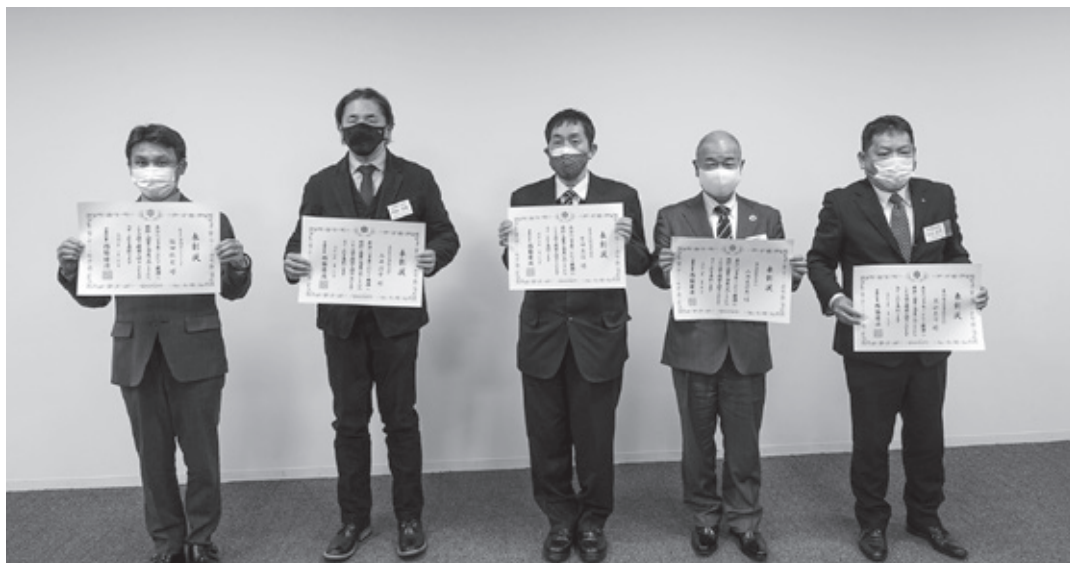


(木下会長)



永年勤続優良従業員表彰

◆京都府知事表彰



◆ 京都市長表彰



◆ (一社) 京都電業協会会長表彰



団体役員功労者 京都市長表彰



受賞者の皆様、誠におめでとうございます。今後とも業界発展のため、益々ご活躍されますことをお祈り申し上げます。

文化財指定等建造物 電気設備安全点検に関する報告(公益委員会)

「重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検」の事業は、京都府内の重要文化財等指定建造物を電気設備の不具合に起因する災害から守るため、昭和 51 年度に開始し、平成 23 年度からは京都府内全域を対象として実施しております。

今回、府内の各消防本部・会員各社の協力により、府内 26 施設(下表参照)での点検を 2 年ぶりに再開、開始以来の点検実施箇所数は累計 679 箇所^(※)となりました。

※重要文化財の他に、社会福祉施設の安全点検(実施期間:昭和 51 年～平成 22 年・延 386 箇所)を実施しました。

令和 3 年度 点検施設一覧			
京都市内 (12 箇所)		京都府内 (京都市以外 14 箇所)	
協力会員名	点検施設	協力会員名	点検施設
北陵電気(株)	今宮神社 様 (北区) ※2社共同点検	森電気工業(株)	深田部神社 様 (京丹後市)
(株)E & Eテクノロジー		池田電気(株)	大頂寺 様 (宮津市)
(株)京阪電気商会	蘆山寺 様 (上京区)	松本電業(株)	多祢寺 様 (舞鶴市)
タキバ電機(株)	霊鑑寺門跡 様 (左京区)	福知山電気(株)	梅田神社様 (福知山市)
東邦電気産業(株)	壬生寺 様 (中京区)	(株)アート	岩王寺 様 (綾部市)
(株)関西電業社	西行庵 様 (東山区)	(株)昭和電工社	摩気神社 様 (南丹市)
カザマ電気工業(株)	安祥寺 様 (山科区)	田淵電機産業(株)	許波多神社 様 (宇治市)
晶和電気工業(株)	長性院 様 (下京区)	五島電気建設(株)	寂照院 様 (長岡京市)
中島電工(株)	行住院 様 (南区)	(株)オリジナル電設	水度神社 様 (城陽市)
(株)鎌電	愛宕念仏寺 様 (右京区)	(株)尾形電気工事	正法寺 様 (八幡市)
上野電機(株)	虚空蔵法輪寺 様 (西京区)	(株)植田電機	玉田神社 様 (久世郡久御山町)
富士電気工業(株)	新居家住宅 様 (伏見区)	三和電気工業(株)	佐牙神社 様 (京田辺市) ※2社共同点検
(株)大興電気	萱尾神社 様 (伏見区醍醐)	(株)コトネット エンジニアリング	
		山科電気工事(株)	浄瑠璃寺 様 (木津川市)
		高崎電機工業(株)	蓮台寺 様 (相楽郡精華町)

点検にご協力いただきましたすべての皆様、誠にありがとうございました。

受賞者コメント

永年勤続優良従業員表彰

◆ 京都府知事表彰

東邦電気産業(株) 丸山圭司

この度は京都府知事表彰を頂きまして、大変光栄に存じます。仕事を支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

自社の自慢&自社PR

120名いる社員が其々の持ち味とアイデアを発揮できる会社です。

山科電気工事(株) 今井浩幸

この度は、このような賞を頂き、誠にありがとうございます。これからも仕事を通じ、社会に貢献する様に努めたいと思います。

自社の自慢&自社PR

社員皆、個性を活かし、お客様第一に考える会社です。

(株)デリブ 塩本力

この度は、永年勤続にてこのような表彰をいただき誠にありがとうございます。今後も、より一層努力し、頑張っていきたいと思います。

自社の自慢&自社PR

多様性にあふれた社員達です。

雅電機(株) 山瀬克世志

この度は栄えある京都府知事表彰を頂きましたこと、大変名誉あることと感動しております。この受賞はこれまでの28年間を振り返る良い機会となりました。

入社以来、数えきれないほど多くの人と出会い、上司・先輩諸氏・同僚や後輩の皆さん、取引先の方々から多くのことを教わり現在まで続けることが出来ました。今日の自分があるのはその人達のおかげだと思います。

まだまだ道半ばでは御座いますが、今後共、一層の努力をいたす覚悟でございます。

自社の自慢&自社PR

先代の起業当初より、顧客への誠実な対応と、なによりも、満足していただける施工に努めております。

社員数は少ないですが、少数精鋭でがんばっております。

(株)京阪電気商会 吉田正信

この度は、京都府知事表彰を頂きましてありがとうございます。

多くの方々のご厚意により、ここまで続けてこられたことを有り難く思います。

後進の方々に何が残せるのかを考え、これからも努力していきたいと思います。

自社の自慢&自社PR

効率が重視されてくるなかで、お客様、社会への貢献を忘れずがんばっています。

(株)昭和電工社 正村淳

この度は、京都府知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。

入社から 25 年間、家族や同僚、周りの方々に支えられてここまで頑張る事が出来て、感謝しております。

この表彰を励みに今後もより一層努力し初心を忘れず業務に邁進していきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

ベテラン社員の技能を計画的な OJT により、若手社員にきちんと伝えることが出来る会社です。

(株)洛南エンジニアリング
塩田統史

この度は、京都府知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。

家族や周りの方々に支えられて、入社 25 年を迎えることが出来ました。

この表彰を機に更に邁進していきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

弊社は 1976 年の創立以来『お客様第一の心で』を大切にしております。

社内の雰囲気も良く、皆で協力し合い楽しく仕事をしています。

◆ 京都市長表彰

宮本電気工事(株) 石野昭成

この度は、素晴らしい表彰をいただき誠にありがとうございます。

この表彰を頂けたのは多くの廻りの方々のおかげと思えます。感謝の気持ちを忘れず、これからも会社と皆様の発展の為に励んでいきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

ワクワク Smile Well-being!

私たちはあかりを通じて豊かで健やかな生活空間を提供し「Well-being」の実現に貢献します。

関西シグナルサービス(株)
長谷川正徳

この度は、京都市長表彰を頂き、誠にありがとうございます。

多くの皆様方に支えられ、これまでやってこられたと思えます。困難な時代ではありますが、社会の発展のため、これからも尽力したい次第です。

自社の自慢&自社PR

創業 50 周年を迎え、これまで社会インフラ整備を中心に事業を展開してまいりました。非常に社会貢献度の高い会社です。

東邦電気産業(株) 佐伯隆左

この度は、京都市長表彰を頂き、誠にありがとうございます。

家族や周りの方々に支えられここまで続けてこれました。常に感謝の気持ちを忘れずに精進してまいります。

自社の自慢&自社PR

組織として一体感のある育てる風土が整った会社です。

日本システム工業(株)
井上満夫

この度は、表彰頂きありがとうございます。

これからも、精一杯頑張ります。

◆(一社)京都電業協会会長表彰

(株)山添電気 森下千春

この度は、このような賞を頂き、誠に有難うございます。

思いがけない賞だったのでとても嬉しく思います。また初心を思い出し、お客様に喜んで頂ける様、精進し努めていきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

電気・機械・土木工事、又、リフォーム工事とオールマイティーな仕事ができる会社です。人材が不足気味な建設業界ですが、若い未経験者も女性も働きやすい会社です。

宮本電気工事(株) 能瀬信行

この度は素晴らしい賞を頂き、誠にありがとうございます。

これからも初心を忘れずより一層努力し仕事に精進していきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

経営理念「ワクワク集団になる!」
Smile Well-being!の企業理念の元、miyamoto20 を社員一同実行し信用をお届けできる会社です。

(株)オリヂナル電設 樺山資忠

この度は、素晴らしい表彰を頂き誠にありがとうございます。

周りの方々のご指導ご協力により、ここまで続ける事ができました。これからも初心を忘れず切磋琢磨を重ねます。

自社の自慢&自社PR

きらりとひかる会社

(株)アート 谷口真実

この度は、表彰して頂き大変光栄に思っております。

そして、それまで指導し支えてくださった職場の先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも会社、そして、社会に貢献できるよう励んでいきたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

時代の変化に柔軟に対応し、常に進歩し続ける会社です。

雅電機(株) 高矢泰史

この度は京都電業協会会長表彰を頂き、誠にありがとうございます。

入社して20年が経過し色々な事を経験しました。この経験を活かし、周りの方々に頼られる存在になれるようにこれからも精一杯頑張りたいと思えます。

自社の自慢&自社PR

社員一同が責任感を持ち仕事に向き合っている会社だと思えます。

東邦電気産業(株) 山中篤嗣

この度は、(一社)京都電業協会会長表彰を頂きまして大変光栄に存じます。

これまでたくさんの方々にご支援いただき、ここまで続けてこられたことに深く感謝しております。初心を忘れず、今後とも業務に邁進して参ります。

自社の自慢&自社PR

ここ数年で当社もたくさんの若い社員の方が入社され、益々、活気ある会社になっていきます。

タキバ電機(株) 小島義一

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。

この仕事に携わり早 15 年が経ちましたが、日々進歩する技術に向き合い、奮闘しております。時代の流れに飲み込まれぬよう、日々、初心を忘れず、前向きに精進して行きたいと思っております。

自社の自慢&自社PR

町家から公共建築まで、常に幅広くお客様のニーズに応えられるよう、社員一同努力しております。

(株)昭和電工社 西野直人

この度は、素晴らしい表彰をいただき、誠にありがとうございます。

この表彰を励みに今後もより一層努力し、初心を忘れず社会に貢献できるように邁進していきたいと思っております。

自社の自慢&自社PR

弊社は 1957 年創業以来、京都と共に発展してきました。

これからも社会のお役に立てる企業を目指します。

団体役員功労者 京都市長表彰

北陵電工(株) 山本利廣

明けましておめでとうございます。

この度、京都市長様より団体役員功労者表彰を賜り、心より御礼申し上げます。

偏に、京都電業協会役員・事務局の皆様、会員企業の皆様のご指導ご協力あつての賜物と重ねてお礼申し上げます。

協会の理念「団結と和」のもとに、大きな転換期を迎えている電気業界の中に於いて、更なる発展を目指すとともに、併せて協会活動の一貫として社会貢献をも視野に入れ、業界の地位向上に繋げていかなければなりません。

皆様のご指導ご協力を賜り、微力ではございますが協会の一役員として尽力する所存です。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

栄えある賞を賜り誠にありがとうございます。

五島電気建設(株) 五島幹也

この度、京都市長様より団体役員功労者表彰を賜り、心より感謝申し上げます。

生意気で勘違いした私が、このような栄えある賞を頂けるとは、想像していませんでした。ひとえに京都電業協会の役員、会員、事務局の皆様のお陰です。有難うございます。

貴協会は、長きに渡り電気工事業界の地位向上、会員企業の経営力強化のために脈々と受け継がれた伝統と実績があります。

私はこの業界の更なる地位向上、働く人のプライドと社会的評価の向上に資するよう精進する所存です。

気がつけば、協会員メンバーの殆どが私より年下の世代になりました。考え方、能力共に大変優秀な方ばかりです。若い世代のエネルギーを活かして京都電業協会が益々発展し、国家に貢献されることをご祈念申し上げます。

行政機関との意見交換会 開催

当協会では、電気設備工事の適正施工の確保・品質向上を目的として、毎年、行政機関との定期的な意見交換を開催し、様々な質問や要望を行うとともに、得られた情報を広報誌等でお伝えしています。

【令和3年度 開催分】

(開催日順)

開催日	意見交換先	会場
令和3年11月8日(月)	京都府	ルビノ京都堀川 会議室
令和3年12月17日(金)	京都市都市計画局 京都市行財政局	京都経済センター 会議室



京都府様との意見交換会



京都市都市計画局様・行財政局様との意見交換会



京都府関係課との意見交換会 議事要旨

日 時 令和3年11月8日(月) 14時00分～15時25分

場 所 ルビノ京都堀川 会議室「松」

出席者(氏名:敬称略)

京都府		一般社団法人京都電業協会
建設交通部 指導検査課 参事	田村 猛	会 長 木下 博之
同 営繕課 課長	壺井 康之	副 会 長 小滝 寛
同 営繕課 参事	北川 隆一	同 山科 隆雄
同 営繕課 建設設備管理係 課長補佐	大杉 和士	常任理事 佐伯 祐左
同 住宅課 建設係 主幹兼係長	廣瀬 孔	専務理事 小林 章一
教育庁 管理部管理課設備係 主幹兼係長	大継 明	理 事 高田 政孝
		同 鎌谷 裕介
		同 堀 智章
		同 松本 芳弘
		同 森 政博
		事 務 局 齋藤 順

(進行役 一般社団法人京都電業協会理事 高田政孝)

京都電業協会挨拶

会 長 木下 博之

只今ご紹介に預かりました、京都電業協会会長を拝命しております、木下です。
どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、京都府の皆様におかれましては、ご公務の大変ご多忙な中を当意見交換会にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、先般は文化庁の移転電気設備工事、府営住宅の電気容量改修工事、学校の長寿命化工事、そしてトンネルの電気設備工事など、大型物件を地元企業にご発注を賜りまして、誠にありがとうございます。重ねて御礼を申し上げます。

現在我が国では、新型コロナウイルスの感染者数も急激に減少していますが、海外ではいまだ猛威を振るっている地域も多く、まだまだ予断を許さない状況です。我々の業界を取り巻く環境は、感染拡大による景気の悪化に伴い、建設投資や各種設備投資の中止や延期が相次いでおります。経営環境はますます厳しい状況となっております。京都府様に置かれましては、今後とも地域活性化の推進のため、地元発注および分離発注の継続をよろしくお願い申し上げます。

ここで、少し協会活動についてご報告させていただきます。

当協会におきましては、新型コロナウイルスの影響で一部の事業で休止や縮小を余儀なくされましたが、理事会や委員会等の会議はすべてリモートで行っております。また、万全のコロナ対策を行いまして、1級及び2級の電気工事施工管理技士の受験対策講習会、1級及び2級の電気通信工事施工管理技士の受験対策講習会、電気工事技術者の CPD 対応の技術力向上講習会を開催しております。特に技術力向上講

習会につきましては年10回の開催を目指しております。

改正労働基準法対策として、会員と社労士との個別相談会を開催しました。また働き方改革の情報提供として、協会理事の手づくりで解説動画を作成し Youtube※にて配信しています。当協会ホームページからどなたでも、ご覧頂くことができます。

参考：京都電業協会 Youtube チャンネル → <https://www.youtube.com/channel/UCiy6XmiWaeNsVCxV7qsIDwg>

電気工事の担い手確保啓発活動として、京都府及び京都市内の工業高校の学生に対して、電気工事についての講習会と工事現場見学会を開催しております。京都市工学院高校様では30名の学生さんと担当の先生方、そして京都市職員の方も参加され、非常に好評を得ているところです。京都府立工業高校様につきましては11月24日に開催させて頂く予定です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。昭和51年から続けております、重要文化財等の電気設備無料点検は、昨年はコロナの影響で中止しましたが、今年は再開いたします。京都府内の26か所の施設を消防署員の方と一しょに点検させて頂きます。

これからも、行政の皆様とこういった意見交換会や分離発注の要請、そして防災協定に基づく防災訓練の参加など、ますます行政機関の皆様との連携強化を図りたく存じます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

京都府挨拶

建設交通部 営繕課長 壺井 康之

只今ご紹介に預かりました、京都府建設交通部営繕課長の壺井でございます。

本日はこのような貴重な意見交換会の場を設けて頂き、誠にありがとうございます。

また、平素は京都府政に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

京都府におきましては、新型コロナウイルスの猛威を受け、4度の緊急事態宣言を経験いたしました。現在の状況は感染者数が減少傾向にあるものの、感染リスクがなくなったわけではありません。京都府におきましては、感染拡大への警戒を続けながら社会経済活動も進めていかなければならない、ということで、「10月22日からの新たな日常」として、基本的な感染予防のルールを守って慎重に行動して頂きますよう、府民の皆様と呼び掛けているところでございます。

また、工事中の現場におきましても、建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づいて感染予防対策を徹底して頂きますよう、お願いしているところでございます。京都府の営繕課関係工事においては、新型コロナウイルスを原因とした工事の遅延等は生じておりません。また、私が聞き及んでいる範囲ではありますが、府内の民間工事の工事現場におきましてもクラスターが発生したという状況は無いという風に聞いております。これらはひとえに京都府の建設業に携わっておられる皆様方が、感染予防対策をきっちり守って努力工夫をしてこられたわけであり、大変感謝しております。第6波の到来が懸念されておりますので、引き続き感染予防対策の取り組みの継続をお願いしたいと思います。

話が変わりますが、営繕工事の生産性向上にかかる取組として、6月から京都府が試行開始しています工事情報共有システム(ASP)について若干ご紹介したいと思います。

工事書類の一部を電子システム、いわゆるクラウド上で処理するというものでございます。土木工事においては既に本格運用されておりますので、会員さんの中で土木工事も行っておられる方はご存知かと思いますが、それ以外の方はご存じない方も多いのではないかと思います。

このシステムにつきましては効率化を図る上で有効なアイテムだと考えておりますので、積極的なご活用をお願いしたいと思います。試行対象工事につきましては現場説明書に記載しておりますが、記載していない試行対象外の工事につきましても、受注者からの申出により試行することができるようにして

おりますのでよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが本日の私の挨拶をさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

京都府から業界への要望・通知事項

なし（協会からの質問・要望事項への回答 にあわせて伝達）

京都電業協会からの質問・要望事項（当日の意見… ●:ご当局 ☆:協会）

(1) 分離発注・地元発注継続のお願い

（協会・事前質問）

☆ 分離発注、地元発注にご尽力いただきありがとうございます。

☆ 分離発注、地元発注が地元企業を育て、それがそのまま社会インフラの維持・向上に対する貢献へ繋がると考えている。今後とも、分離発注・地元発注の継続をお願いしたい。

（京都府・回答）

● WTO案件を除き、公契約大綱に基づき府内企業への発注を原則としており、今後も府内企業への発注に努めたい。また、分離発注が適切と判断される工事案件については分離発注を採用している。今後も発注件数の確保に努めていきたい。

（当日の意見）

特になし

(2) 年度発注量平準化のお願い

（協会・事前質問）

☆ コロナ禍にあって、民間企業の設備投資には不透明感があり、特に令和3(2021)年度以降の更なる冷え込みを業界としては懸念している。中長期的な予算計画の中で確実な年度予算と工事発注量の確保をお願いしたい。

☆ 4～5年後の計画であっても、民間需要の落ち込みが予想される時期への前倒しなど、年間を通じて工事量の平準化につながるような発注の検討を行って頂くようお願いしたい。

（京都府・回答）

● 営繕課としては、年度予算の確保、工事発注量の確保及び工事量の平準化ができるよう努めていきたい。

● 住宅課では、府営住宅の「長寿命化計画」を策定し、計画的な維持管理・更新工事を進めており、電気設備工事関係では「電気容量改修工事」を毎年実施している。今後も計画的な改修(発注)を進めていきたい。

● 教育庁では、府立高校校舎1棟を改修する「長寿命化改修工事」や「空調設備改修に伴う電気設備工事」等について、各年度において平準化するよう、府立高校全体で計画的に進めていきたい。

(当日の意見)

特になし

(3) 年間を通しての工事発注及び竣工時期の平準化のお願い

(協会・事前質問)

☆ 発注部局に関わらず一般的に、年間を通じて見た時の発注時期が、第2・第3四半期に偏り、第1四半期に少ない傾向が見られる。一方、年度末3月に竣工を迎える工事案件が官民間問わず多くあり、就労時間も集中・増加する。働き方改革を加味し、事業計画時期の調整等もあると認識しているが、竣工時期にも配慮して、年間を通じた発注時期の平準化をお願いしたい。

(京都府・回答)

- 営繕課では、事業主管課と調整のうえ、なるべく平準化に努めていきたい。但し、施設により施工時期の制約を受ける場合が有ることをご了承願いたい。
- 住宅関係での取組としては、できる限り前年度に設計を終え、翌年度の第1～第2四半期に工事を発注できるようにして、年度内の平準化に努めたい。
- 教育庁においては、極力偏りのないよう行いたいところであるが、学校施設の改修については、学校の運営を考慮した工程にて計画を進める必要がある点をご理解願いたい。

(当日の意見)

特になし

(4) ダンピング受注排除の徹底

(協会・事前質問)

☆ これまでの御当局の取組により、総じてダンピング受注は減少していると認識している。ダンピング受注はその1件だけの問題で済まず、発生した1件に対し厳しい態度で対処しなければ、連鎖することで業界の疲弊へつながる危険性を有している。

☆ 当協会ではダンピング受注は行わないよう会員啓発を行うので、御当局におかれましても厳しく対処いただきたい。

(京都府・回答)

- 公契約大綱の下、「公正な競争」、「地域経済への配慮」、「安心・安全の確保」のバランスのとれた入札契約制度に取り組んでおり、ダンピング対策の取り組みもその一つとして進めているところである。
- 最低制限価格については、公契連の低入札調査基準価格制度の算定基準(いわゆる中央公契連モデル式)を準用しており、平成31年4月に改正されたのを受け、直ちに見直しを行っている。
- また、低入札価格調査の厳格化調査を採用し、ダンピング排除に努めている。

(当日の意見)

特になし

(5) 入札要件緩和による入札機会拡大のお願い

(協会・事前質問)

☆ 当協会では会員企業の技術力向上により、地域の健全な社会インフラの構築と維持に貢献して参りたい。技術力向上には、研修や訓練を通じた自社における取り組みと、実際の施工を通じた経験値向上の両方が必要であり、この考えから、当協会では技術力向上講習会を積極的に開催し、会員、非会員を問わず地元業者へ研修機会を提供している。

☆ 施工機会を提供する側におられる御当局には、地元中小企業に対する入札機会拡大を推進して頂き、地元業者の育成につなげて頂くようお願いしたい。具体的には、大手工事会社しか充足できないような入札要件や、メーカー系会社しか充足できないような入札要件を緩和していただきたい。

☆ 施工実績の蓄積の面からも、大手工事会社やメーカー系会社の受注案件の施工時における地元発注促進についてもご配慮願いたい。

(京都府・回答)

● WTO対象工事を除き、原則として「府内企業への発注」や「下請企業の府内調達の要請」を進めている。また、大規模工事や特殊工事などの品質を確保する必要がある工事においては、同種工事の施工実績を求めることがある。

● 営繕工事において、大型で施工難易度が高い工事や特殊工事については、施工実績を求める必要があると考えており、施工実績要件等については案件ごとに検討している。今後も、品質確保の観点から施工実績を求める場合があることをご理解頂きたい。なお、特殊工事の事例として、無停電電源装置の更新、直流電源装置改修工事が挙げられる。

(当日の意見)

☆ 施工実績要件を「なくす」ことは困難であろうと推測される。少しずつ「緩和」をお願いしたい。

☆ 特殊工事であっても、共同企業体(JV)を活用し、府内中小企業にも受注機会の確保をお願いしたい。京都市役所庁舎新築工事の入札において、「耐震機能を有する建造物での施工経験」が要件に付されたが、大手工事業者と地元中小企業とのJVが採用された結果、中小企業も施工実績を得る機会が得られた。

(6) 取り分け制度拡大のお願い

(協会・事前質問)

☆ 数年前より、受注機会拡大のために、同日で2件公告される同種の入札案件は選択制(1件のみ申請可)となっている。しかし最近、入札参加者が徐々に多くなり、1件あたりの競争が激化する傾向から、受注機会拡大を図るために、同日入札の申請の制限を撤廃し、複数申請を可能として頂き、落札者の取り分け制度の採用をお願いしたい。

(参考)受注機会促進方式の採用事例

中丹西土木事務所 令和3年6月3日公告

ゆずりトンネル (福知山市)	中西2防災安全(緊防緊)第999の1号の1の1他 令和3年7月7日 開札
坂浦トンネル (福知山市)	中西2防災安全(緊防加)第999の1号の1の2 令和3年6月24日 開札

(京都府・回答)

- 今回紹介のあった中丹西土木事務所の案件については「取抜き」に類似した制度となっているが、本来の「取抜き」ではない。この案件では、開札日を別日に設定し、先の入札の落札者には次の入札の参加資格が与えられない運用としており、地方自治法や会計規則の規定を守りながら、多くの参加業者の受注機会を確保しようとするものである。
- 「参加制限」の場合、入札ごとの応札者の偏りが起きる可能性がある。今後は、工事の内容を考慮の上、受注機会促進方式の試行など、受注機会の拡大に向け研究してゆきたい。

(当日の意見)

- ☆ この問題については、協会の会員で意見が分かれており、アンケートを実施すると必ず要望に挙がっている。「施工実績要件が無いと入札に参加できないのに、受注機会がなく施工実績自体が得られない」状態の解消を目指し、受注機会の確保を要望したい。
- ☆ 年間受注件数の上限を設けることについて問題があるのか？
- 土木工事において、年間受注件数の制限を課す要望を聞いているが、価格競争、総合評価、受注機会促進方式の利用、参加制限の実施等の工夫により受注機会を確保することとし、単に受注件数に上限を設けることは考えていない。

(7) 労務費改善に向けた取り組みのお願い

(協会・事前質問)

- ☆ 前述のように、企業育成と働き方改革対応において、今後も引き続き担い手の確保と、確保した人材の育成が不可欠である。魅力ある産業にすることで、若い担い手が増え、希望を持って入職した若者たちが健全に成長していくためには人材投資が欠かせない。その源泉は「工事労務費」であるが、設計上の労務費と実情があっているとは言い難い状況にある。設計労務費の改善に向けた取り組みへのご協力をお願いしたい。

(令和3年3月から適用する公共工事設計労務単価を、参考提示)

(京都府・回答)

- ご存じの通り、設計労務単価は、国交省の調査・統計処理に基づき設定されているものであり、発注者の判断で変更できるものではないことに留意頂きたい。
- 令和2年度調査の結果、統計では前年を下回っている数値が出たところ、コロナ禍を考慮した激変緩和措置により設計労務単価が据え置かれていることを理解頂きたい。

(当日の意見)

☆ 業界からの要望があったことについて、機会があれば国土交通省に伝えて頂きたい。

(8) 働き方改革推進に対する取り組み

(協会・事前質問)

☆ 平成31(2019)年4月1日に施行された改正労働基準法が我々建設業者に適用されるのは、令和6(2024)年4月1日である。またその前年、令和5(2023)年4月1日からは、月60時間を超える時間外労働に対する時間外手当の割増率は50%以上となる。

☆ 中小工事業者には労務の専門部門がないことの方が多く、当協会にて会員企業に対し行ったアンケートによると、法改正そのものを正しく理解していない事業者が多くいる実態も判明している。当協会ではこれを重く受け止め、法改正の理解と適用への手助けを進めている。

☆ 長時間労働の是正には、受注者側の努力だけでなく、極端に短い工期設定の排除はもとより、週休2日を前提とした工期設定など、発注者側での施策も不可欠であり、御当局には、今後発注の工事におきまして、週休2日に対応した現場の拡充、余裕を持った工期設定の拡大推進をお願いしたい。

(京都府・回答)

- 公契約大綱の改正により、働き方改革の推進にかかる事項として「工事技術者の休日や必要な準備期間を考慮した適切な工期設定すること」「2年度にわたる工期の設定など必要に応じた取組みにより、施工時期を平準化すること」が盛り込まれている。これに基づき、営繕工事においては「週休2日の徹底」「適正な工期設定」に向けて努めていきたい。
- また、営繕工事における生産性向上技術の活用については、本年6月より工事提出書類の改定、工事情報共有システム(ASP)の試行を実施している。今年度の試行結果を検証し、更なる業務効率化につながるよう、WEBでの定例会議や電子黒板の採用なども検討していきたい。
- 生産性向上と担い手確保の観点から週休二日制は避けて通れないと考えている。「適正な工期」「週休二日の確保」に取り組んでいきたい。

(当日の意見)

☆ デジタル化への対応を急がなければならないが、「わかりやすい」仕組みを官民協力して追求していきませんか。また土木業者の反応は？

- 今年度の営繕工事においては、工事情報共有システム(ASP)の試行対象案件が19件あり、今後アンケートを実施して改善点等を分析していきたい。
- 土木工事では、ASPを活用することにより、書類作成等を含め効率化になったとの意見を聞く。

☆ 週休二日制や4週8休を導入した場合の加点措置はあるのか。

- 現時点では、土木工事のみ週休二日制を実施しており、建築や電気ではまだ実施していない。また土木工事において週休二日制を実施している場合、総合評価方式で加点評価して

いる。

☆ 会員からの意見に、週休二日制の下でも官庁発注工事で土曜施工を指定する事例や、改正労基法で年間720時間を超える時間外労働に罰則が適用されるが、年度末の工期逼迫が自社にどう影響するのかを懸念する意見があった。事業者側と発注者側が協力しながら、適正工期の設定が実現するようお願いしたい。

(9) 建設キャリアアップシステムの適用推進について

(協会・事前質問)

☆ 国では、令和5(2023)年度に建設キャリアアップシステム(CCUS)をすべての工事において原則化するとの方針が打ち出されている。これを受け、当協会でも会員企業へアンケート確認したところ、いまだ仕組みをよく理解していない企業、および、理解はしているが対応を先送りしている企業が多いことが判明しており、当協会では今後、仕組みの理解促進や、システム導入の啓発活動を行っていく予定である。

☆ 貴局における今後の取り組み(発注工事への導入予定など)について、計画されていることがありましたら、ご教示をお願いしたい。(発注者側のお考えとして、会員企業に対する理解促進に活用させて頂きたい。)

(京都府・回答)

- 国においては、令和5年度から、公共民間を問わずCCUSを本格運用する旨聞いている。本府においては、建設職人基本法※に基づく京都府計画を策定し、CCUSの活用推進を明記しており、建設技能者の処遇改善、生産性向上を図るためにCCUSの普及を推進していく。
- 一方、建設業界からはCCUS導入に対する意見や懸念を聞いている。国や他府県の動向を研究し、府内企業の登録状況を把握しながら、今後の取組を検討していきたい。

※正式名…建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律

(当日の意見)

特になし

(10) 今後の設備投資計画、方針について

(協会・事前質問)

☆ 応札する側としては、数少ない技術者の配置を少しでも効率よく行えるよう、応札計画を立てている。来年度以後の設備投資計画について可能な範囲でご教示をお願いしたい。特に、コロナ禍における観光需要の減少により、発注者側においても収入計画の変更を余儀なくされたり、インフラ整備計画に大幅な変更があるのではと推察している。

(京都府・回答)

- 営繕関係では、次年度以降に宇治警察署新築工事、洛南病院新築工事を計画している。
- 住宅関係は、洛西地区で電気容量改修工事を2件、舞鶴の朝来西(あせくにし)団地で改善工事、北後藤団地で水回り改善工事など、電気設備工事を計4件計画している。

- 学校関係では、次年度以降の工事計画として、校舎の長寿命化改修工事、空調改修に伴う電気設備工事、受変電設備改修工事を計画しており、予算要求を行っている。

(当日の意見)

- ☆ 今後の計画を、差し支えない程度にお聞かせ願いたい。
- 予算要求の段階なので正確なことはいえないが、営繕課受託工事としては、修繕工事については、建築工事に比べると多い印象である。
- ☆ 電気設備は安全にお使い頂きたいと願っている。老朽化、故障した設備の修繕依頼を頂くことがあるが、予防修繕の心掛けをお願いしたい。また、学校において「生徒の安全」を確保する観点からも、修繕計画を作成して頂くようお願いしたい。
- 予防保全の重要性を理解しており、各施設の管理部署において修繕計画を定め、計画的に修繕を進めているのでご了承願いたい。

(11) その他

- ☆ 熟年技術者が高齢化しており、今後、若手世代や女性の技術者に担い手が変わっていく中で、施工実績要件を「人」単位から「企業」単位にするよう緩和して頂きたい。
- 近年、建築工事及び管工事においては、総合評価方式競争入札が実施できていない。建築・設備工事における落札者決定基準の見直しを検討するにあたり、土木工事で採用している評価項目(例:若手・女性技術者の活用)を参考にできないか、今後、業界へのアンケートを実施したいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

閉会挨拶

京都電業協会 副会長 小滝 寛

京都府の皆様、

本日は大変お忙しい中、当協会との意見交換会にご参加頂きまして、誠にありがとうございました。

このコロナ禍の中で、京都府内の(観光業も含め)各企業が傷ついているのが現状だと思います。

京都市については予算が大変だということで、この前の予定発注物件の何件かが延期になった模様です。そのような中でも、当協会の会員数はコロナ禍において約10社程度、増えております。

大変仕事が少ない厳しい中で、各会員さんが当協会にいろいろな期待をして入ってこられる。その向こうには、行政機関との意見交換会を通じ「いろいろ勉強したい、教えて頂きたい」ということを考えておられるのだと認識しています。

この5年くらいで、働き方改革・労働基準法改正・キャリアアップシステム・インボイス制度・有給5日間取得など、建設業全体において対応すべき課題があります。当協会ではいろいろなアンケートを取り、京都府様のご指導を頂きながら対策を進めていきたいと思っております。京都府様におかれましては、ぜひ地元の電気工事業者に対し、引続きご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

京都市関係部局との意見交換会 議事要旨

日 時 令和3年12月17日(金) 13時55分～16時00分
場 所 京都経済センター(京都市下京区) 4階 4-D会議室

出席者(氏名:敬称略)

京都市		一般社団法人京都電業協会
行財政局 管財契約部		
契約課長	西川 正輝	会 長 木下 博之
工事契約係長	萱原 康宏	副 会 長 小滝 寛
担当係長	臼井 博俊	副 会 長 山科 隆雄
都市計画局 公共建築部		副 会 長 進藤 久和
公共建築企画課 担当課長	樋口 博紀	常任理事 佐伯 祐左
公共建築建設課 担当課長	野原 将嗣	理 事 鎌谷 裕介
公共建築整備課長	大西 一範	理 事 藤井 正
都市計画局 都市企画部		理 事 植田 司郎
都市総務課 担当課長	仲北 好宏	
都市総務課	林 貴彦	事 務 局 齋藤 順

(進行役 一般社団法人京都電業協会常任理事 佐伯祐左)

京都電業協会挨拶

会 長 木下 博之

只今ご紹介頂きました、京都電業協会会長を務めさせて頂いております、木下です。

本日は、京都市の皆様におかれましては、公務御多忙の中、当意見交換会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。平素は、市内の建設業界に対しまして、地域の発展、活性化のために格別のご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

現在我が国におきましては、新型コロナウイルスの感染者数は急激に減少しておりますが、海外では未だに猛威を振るっており、予断を許さない状況であります。我々の業界におきましても、建設投資や設備投資の中止や延期の影響で、経営環境は、まだまだ厳しい現状が続いております。

京都市様におかれましては、今年度、ESCO事業で照明のLED化を特定の事業者に発注されるという案件がございましたが、今後とも、地域活性化の推進のためにランク別発注および分離発注の継続をよろしく願いいたします。

少し協会活動について報告させて頂きます。当協会におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、懇親会などの一部の親睦事業で中止や縮小しましたが、理事会や各委員会活動については、リモートですべて活動しております。また、万全の対策を講じて、1級・2級電気工事及び1級・2級電気通信工事の施工管理技術検定の受験対策講習、また、技術者のためのCPD対応技術力向上講習などを開催しております。特に技術力向上講習会につきましては年10回程度の開催を目指しております。

改正労働基準法対策としては、会員と社会保険労務士との個別相談会を開催しました。働き方改革の情報提供のため、協会理事が手づくりで解説動画を作成し、YouTube 京都電業協会チャンネルで公開しています。誰でもご覧頂くことが出来ますので、よろしくお願いいたします。

電気工事業の啓蒙活動の一環として、京都府および京都市の工業系高校に対しまして、電気工事についての勉強会と工事現場の見学会を開催いたしました。

京都市立京都工学院高校では、30名の学生さんと担当の先生方や京都市職員の方にもご参加頂きました。ご協力ありがとうございました。

昭和51年から続けております「重要文化財等の電気設備無料安全点検」は、昨年は中止しましたが今年は再開し、京都府内の26か所の施設を、消防署員の皆様と一緒に点検させて頂きました。

これからも行政の皆様方と、意見交換や防災協定等を通じて、ますます連携強化を図っていききたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

京都市 挨拶 都市計画局公共建築部 公共建築整備課長 大西 一範

今ご紹介頂きました、都市計画局 公共建築部 公共建築整備課長を今年から拝命しております大西です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、一般社団法人京都電業協会の皆様と京都市との意見交換会ということで、木下会長はじめ皆様と意見を交換させて頂く機会を頂き、ありがとうございます。協会の皆様におかれましては、平素から本市工事の安全で円滑な施工に協力いただき大変感謝しておりますとともに、協会としても法令遵守の取組、講習会・人材育成、文化財点検、防災協定などの地域貢献に協力を挙げて取り組まれていることに敬意を表します。また、次を担う若い世代の確保育成として、「ULTRAMAN 7(Seven) PROJECT」の取組や、工業高校生に対する「電気のみもりびと」を探す活動など新たな取組にも活発に取り組まれていることに併せて敬意を表します。

私の方からは、意見交換に先立ちまして、3点ほどお伝えしたいと思います。

まず1点目です。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、協会の皆様にはこの間も感染拡大防止対策にご協力頂きながら、安全・安心な公共事業の推進にご尽力頂いていることにあらためて感謝申し上げます。本市は極めて厳しい財政状況ではありますが、市民の皆様のくらしや安心・安全を守るために、市民生活に不可欠な社会インフラの整備・充実に引き続き取り組んでいかなければならないと考えております。今後も、工事の安全は勿論、働いている皆様の安全・健康にもご留意頂きながら、引き続き事業推進にご協力を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2点目は、働き方改革についてです。

ご承知のとおり、令和6年4月から時間外労働の上限規制が適用されることとなります。本市においても週休二日制モデル工事の試行を実施しております。これまで新築工事が対象でしたが、本年度、解体工事にも拡大し、引続き建設業における労働環境の改善にも取り組んでまいります。

協会員の皆様にも、工事実施の際にはぜひご協力を賜り、労働者の環境改善と中長期的な労働者の育成確保につながるような「魅力的な工事現場づくり」に共に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また一方で生産性向上の取組も進めていく必要があります。こちらについては、引続き工事書類の簡素化や電子化、あるいは工事情報共有システムの導入などを検討しており、協会の皆様からも意見を頂戴して進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3点目は、カーボンニュートラルについてです。

京都市地球温暖化対策条例が昨年12月に改正され、市民・事業者の皆様のご協力のもと、2050年までにCO2排出量の正味ゼロを目指すことにしております。これを受け、公共建築物の整備に関しても、今年3月に京都市独自の「京都市公共建築物脱炭素仕様」を改訂し、建築物の省エネ化・高断熱化・市内産木材の活用・再生可能エネルギー利用設備の導入等により一層取り組むことにしております。

2050年までにCO2排出量の正味ゼロの目標を達成するのは並大抵のことではありません。協会の皆様の豊富な知見をお借りしながら、この大きな目標の達成に向けて、例えば、新たな技術の導入検討などの情報共有を図りながら、互いに力を合わせ取組んで参りたいと考えております。

最後になりましたが、本日の意見交換会における活発な議論が、協会の更なる発展と今後の本市の施設整備にとっての一助となることを期待しまして、様々なお話をさせて頂けることを期待して、私からの御挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いたします。

行政当局からの質問・要望事項 (発言… ●:ご当局 ☆:協会)

(1) 防災協定の取り組みについて

(都市計画局公共建築企画課・事前質問)

- 本市と協会との間で防災協定を締結しており、今後、京都市に大規模な災害が発生した際には、公共施設の電気設備の被害状況の調査及び必要な応急修繕等を実施頂き、二次被害の防止等にご協力頂けることとなっている。
- 近い将来、実際に災害が発生したときに協会と本市がどのように連絡を取り合い、こういった仕組みで活動するかなどについて、平時から協議や訓練を行う必要があると考えており、今後、継続的に協議させて頂きたい。
- また、協会が日頃より取り組んでいる災害対策や防災活動についてご教示願いたい。

(協会・回答)

- ☆ 当協会の公益委員会が担当している。緊急連絡体制図(連絡先)を作成し、平常時の連絡訓練を通じ改善に努めており、災害の状況により協会単体で対応できない場合に備え、隣接県の電業協会との相互応援協定も締結している。
- ☆ 近年多発する災害の際、スマートフォンとインターネット(メールや SNS)が活用された事例を知り、当協会の連絡体制においても、固定電話・FAXだけでなくインターネットを利用した通信手段の併用を検討している。協会員の理解を得ながら、緊急連絡体制の再整備を進めていきたい。
- ☆ 公益委員会では、BCPの取組に関しても、会員の取組状況の把握、取組啓発を検討している。因みに、協会員117社のうち、国土交通省近畿地方整備局BCP制度の認定を受けている会員は11社いる。

(2) 生産性向上の取り組みについて

(都市計画局都市総務課・事前質問)

- 建設産業の生産性向上については、令和元年に改正された「新・担い手3法」において大きく位置付けられており、本市では、工事関係書類のうち様式を定めているものに

ついて、ホームページ上でダウンロード可能にする取組や工事関係書類の提出書類の見直し等を実施してきた。

- 国においてもデジタル化に向けた動きが加速していることを受け、本市においても、令和4年1月4日以降に契約する工事案件から、工事関連書類などについての署名及び押印を原則廃止する。
- さらに、今後、ペーパーレス化に向け情報共有システム（ASP）等の導入や、提出を要する工事関係書類の電子化の検討も進め、書類配送の手間の軽減など効率化を図っていきたいと考えており、協会の意見を聴きたい。

（協会・回答）

- ☆ 行政からの通知・情報提供を頂いたときは、すみやかに協会員に周知している。
- ☆ 電子化への取組については政策委員会内で議論を進めており、例えば電子化に対応できない会員への支援などを考えている。また、会員の電子化への対応状況・情報インフラの整備状況等を探っておくことも検討したい。
- ☆ 協会自体の電子化構想について、例として「広報誌」の電子化を考えており、構想の検討に必要な情報収集を続けている。

京都電業協会からの質問・要望事項 （発言… ●:ご当局 ☆:協会）

（1）分離発注・地元発注継続のお願い

（協会・事前質問）

- ☆ 分離発注、地元発注にご尽力頂き、ありがとうございます。
- ☆ 分離発注、地元発注が地元企業を育て、それがそのまま社会インフラの維持・向上に対する貢献へとつながる。今後とも分離発注、地元発注を継続頂くようお願いしたい。

（行財政局契約課・回答）

- 本市においては、公契約基本条例の下、原則として市内中小企業への分離・分割発注としている。但し、WTO（政府調達協定）対象となる大規模工事や、特殊な技術を要する工事等の場合は対象外となる旨、ご了承願いたい。

（当日の意見）

特になし

（2）発注時期平準化のお願い

（協会・事前質問）

- ☆ コロナ禍にあって、民間企業の設備投資には不透明感があり、特に令和3（2021）年度以降の更なる冷え込みを業界としては懸念している。中長期的な予算計画の中で確実な年度予算と工事発注量の確保をお願いしたい。
- ☆ 4～5年後の計画であっても、民間需要の落ち込みが予想される時期への前倒しなど、年間を通じて工事量の平準化につながるような発注の検討を行って頂くようお願いしたい。

（都市計画局公共建築企画課・回答）

- 本市においては、それぞれの施設を所管する局が策定した事業計画や施設からの改修要

望・設備の劣化状況等を踏まえ、工事を発注しているため、年度によって発注件数にばらつきが生じることがある。

- 行財政局が中心になり策定している「公共施設マネジメント基本計画」において、各施設が適切に維持できるよう、中長期的な視点に立ち、工事やコストの平準化に努めている。
- 市民の生活に直結する公共施設の整備は、市民の生命や暮らしを守るために必要不可欠であると考えており、本市は厳しい財政状況にあるが、引続き関係各局と一体となって取り組んでまいりたい。

(当日の意見)

特になし

(3) 年間を通しての工事発注及び竣工時期の平準化のお願い

(協会・事前質問)

☆ 発注部局に関わらず一般的に、年間を通じて見た時の発注時期が、第2・第3四半期に偏り、第1四半期に少ない傾向が見られる。一方、年度末3月に竣工を迎える工事案件が官民間問わず多くあり、就労時間も集中・増加する。働き方改革を加味し、事業計画時期の調整等もあると認識しているが、竣工時期にも配慮して、年間を通じた発注時期の平準化をお願いしたい。

(都市計画局公共建築整備課・回答)

- 本市では、要望を受け、発注時期や施工時期の平準化を図るために、第1四半期に発注する案件を増やす、複数年に跨る工事の設定に取組み、可能な限り年度末に工事が集中しないよう努めてきた。
- 都市計画局においては、公共建築建設部所管工事について、令和元年度・2年度では、発注件数で見るとほぼ分散化が図れたのではないかと考えている。但し、予算編成上の制約や、新学期を迎える学校施設の事情もあり、年度末の工事の集中が避けられないものもある。工事の平準化に関する要望に対する検討を続けていきたいので、ご了承願いたい。

(当日の意見)

特になし

(4) ダンピング受注排除の徹底

(協会・事前質問)

☆ これまでの御当局の取組により、総じてダンピング受注は減少していると認識している。ダンピング受注はその1件だけの問題で済まず、発生した1件に対し厳しい態度で対処しなければ、連鎖することで業界の疲弊へつながる危険性を有している。

☆ 当協会ではダンピング受注は行わないよう会員啓発を行うので、御当局におかれましても厳しく対処いただきたい。

(行財政局契約課・回答)

- 本市の取り組みとして、具体的には、予定価格の事後公表を予定価格2億円以上の工事に拡大、WTO 対象工事及び総合評価落札方式の工事において低入札価格調査基準価格の設定、それ以外の工事については最低制限価格制度を適用しており、ダンピングの抑止策としている。

- 令和2年度から、最低制限価格の上限を、市独自に予定価格の94%に引き上げている。(国は92%)。今年度上半期の平均落札率は90.48%(平成23年度比:約5pt上昇、平成26年度比:約2pt上昇)であった。今後もダンピング対策に取り組んでいきたい。

(当日の意見)

特になし

(5) 入札要件緩和による入札機会拡大のお願い

(協会・事前質問)

- ☆ 当協会では会員企業の技術力向上により、地域の健全な社会インフラの構築と維持に貢献して参りたい。技術力向上には、研修や訓練を通じた自社における取り組みと、実際の施工を通じた経験値向上の両方が必要であり、この考えから、当協会では技術力向上講習会を積極的に開催し、会員、非会員を問わず地元業者へ研修機会を提供している。
- ☆ 施工機会を提供する側におられる御当局には、地元中小企業に対する入札機会拡大を推進して頂き、地元業者の育成につなげて頂くようお願いしたい。具体的には、大手工事会社しか充足できないような入札要件や、メーカー系会社しか充足できないような入札要件を緩和していただきたい。
- ☆ 施工実績の蓄積の面からも、大手工事会社やメーカー系会社の受注案件の施工時における地元発注促進についてもご配慮願いたい。

(都市計画局公共建築建設課・回答)

- 市内企業による本市の社会インフラ維持への貢献については、非常に大切なことと捉えており、中小企業の技術力向上の取組とともに、本市の公共施設の維持管理に大きく寄与していると考えている。
- 都市計画局が電気設備工事を発注する際は、原則分離発注とした上でランク別発注による一般競争入札により、市内中小企業の受注機会確保を図るよう努めている。
- WTO対象案件や特殊な技術を要する工事など、市内企業に限定できない工事については、入札参加資格要件として「類似する施工実績」を付す場合がある。入札参加資格要件を付す場合でも、市内企業が入札参加できること、市内企業が共同して受注すること、総合評価方式において市内企業の下請参加比率を高めることなどにより、多くの市内企業が入札参加または工事参入ができるよう、発注方式の工夫を図る取組を進めている。

(当日の意見)

- ☆ 意見交換会に臨む前に会員アンケートを実施しているが、会員からは、受注機会の緩和についての要望が必ず寄せられる。「施工実績は無い」とされているが、実際は下請業者として工事に参画している事例が多いと聴いている。実態も考慮の上で「施工実績要件の緩和」の検討をお願いしたい。

(6) 労務費改善に向けた取り組みのお願い

(協会・事前質問)

- ☆ 前述のように、企業育成と働き方改革対応において、今後も引き続き担い手の確保と、確保した人材の育成が不可欠である。魅力ある産業にすることで、若い担い手が増え、希望を持って入職した若者たちが健全に成長していくためには人材投資が欠かせない。その源泉

は「工事労務費」であるが、設計上の労務費と実情があっているとは言い難い状況にある。
☆ 建設業(中でも電工)の賃金が低水準であるという問題を是正するために、設計労務費の改善に向けた取り組みへのご協力をお願いしたい。

(令和3年3月から適用する公共工事設計労務単価を参考として提示した)

(都市計画局都市総務課・回答)

- 本市が採用する労務単価は、国が調査を行い、全国统一基準により統計的に算出した数値を用いており、発注者が独自に判断できるものではないので、ご了承願いたい。
- この単価は、コロナ禍の影響による激変緩和措置も含まれており、社会情勢を適切に反映していると認識している。また全国の建設団体から国への要望で2%程度上昇の目標を掲げているとも伺っている。今後も国の動向を注視しながら、労務単価の適切な運用に努めていきたい。

(当日の意見)

☆ 電工単価が他の業種と比べて低水準にあることについて、長年疑問に感じている。
電気工事の従事者には国家資格や経験を求められるが、技術難易度に比べ待遇が充分ではないことを不満に思っている旨をご理解頂きたい。

(7) 働き方改革推進に対する取り組み

(協会・事前質問)

- ☆ 平成31(2019)年4月1日に施行された改正労働基準法が我々建設業者に適用されるのは、令和6(2024)年4月1日である。またその前年、令和5(2023)年4月1日からは、月60時間を超える時間外労働に対する時間外手当の割増率は50%以上となる。
- ☆ 中小工事業者には労務の専門部門がないことの方が多く、当協会にて会員企業に対し行ったアンケートによると、法改正そのものを正しく理解していない事業者が多くいる実態も判明している。当協会ではこれを重く受け止め、法改正の理解と適用への手助けを進めている。
- ☆ 長時間労働の是正には、受注者側の努力だけでなく、極端に短い工期設定の排除はもとより、週休2日を前提とした工期設定など、発注者側での施策も不可欠であり、御当局には、今後発注の工事におきまして、週休2日に対応した現場の拡充、余裕を持った工期設定の拡大推進、土曜・日曜・祝日指定工事の撤廃等をお願いしたい。
- ☆ 更に、発注決定後の打ち合わせにおいて、積極的なWEB会議システムの導入予定等について知りたい。

(都市計画局公共建築建設課・回答)

- 都市計画局においては、令和元年度から週休二日制モデル工事を試行しており、令和4年度からは改修工事を含め、原則として全件でモデル工事として実施予定である。
- また、週休二日制の取組においては、適正な工期設定が重要であると考えており、必要な工期設定を確保するほか、総合試運転調整が確実に実施できるよう「概成工期」の設定に努めている。これらの取組を受発注者相互に進めていくことにより、建設業における働き方改革の推進に努めていきたい。
- WEB会議システムは、本市発注工事の一部で活用されている。現状は建築主体工事の受注者による導入判断、構築能力に依存している状況にあるが、建設業の生産性向上・効率

化には効果があると考えられる。

- 週休二日制の労務費の考え方については、モデル工事の試行に際し、国の制度に準じ、労務費の1.05倍相当額を予定価格に計上している(達成できなかった場合は減額)。なお、モデル工事においては、週休二日制が達成できない場合でも成績評価での制裁は課されないこととしている。

(当日の意見)

☆ 公契約基本条例と働き方改革との関係はどのようになっているのか。

- 同条例は、労働者の労働環境を確保することも含めた条例である。条例制定の過程でかなりの議論を重ねてきたところであるが、労働者の賃金については、労使間の交渉により決定されること、法令上は厚生労働省が所管していることから、本条例では賃金条項を設けないこととなった。本市においては、各事業者の法令遵守状況を確認することにより労働者の保護を図る運用としている。

(8) 建設キャリアアップシステム(CCUS)の適用推進について

(協会・事前質問)

☆ 国では、令和5(2023)年度に建設キャリアアップシステム(CCUS)をすべての工事において原則化するとの方針が打ち出されている。これを受け、当協会でも会員企業へアンケート確認したところ、いまだ仕組みをよく理解していない企業、および、理解はしているが対応を先送りしている企業が多いことが判明しており、当協会では今後、仕組みの理解促進や、システム導入の啓発活動を行っていく予定である。

☆ 貴局における今後の取り組み(発注工事への導入予定など)について、計画されていることがあれば、ご教示をお願いしたい。

(発注者側のお考えとして、会員企業に対する理解促進に活用させて頂きたい。)

(都市計画局都市総務課・回答)

- CCUSについては、国直轄工事においては原則採用されている。本市においては、市内や全国の建設団体からの要望を受け、検討を始めたところである。
- 現時点でのCCUS登録者数は全国で73万人、全就業者数の23%程度と聞いている。国の目標を下回っており、事業者の認識や手続の複雑さなど、普及には課題があるとされている。
- 現時点での見通しを示すことが出来ないが、他都市の状況等を研究しながら、検討を続けていきたいと考えている。
- なお、本市の入札参加業者での導入状況を調査したところ、電気Aランクは50%(16社中8社導入)、電気Bランクで約70%(17社中12社導入)であった。建築や管工事と比べ、電気工事の普及は進んでいるのではないかと推測している。

(当日の意見)

☆ 現時点で実際に登録をしてみようとする、操作専任者を要する程、中小企業にとって導入へのハードルは高いが、国の方針に従い、発注者と連携を取りながらCCUSの普及に向け啓発していきたい。

(9) 今後の設備投資計画、方針について

(協会・事前質問)

☆ 応札する側としては、数少ない技術者の配置を少しでも効率よく行えるよう、応札計画を立てている。来年度以後の設備投資計画について可能な範囲でご教示をお願いしたい。特に、コロナ禍における観光需要の減少により、発注者側においても収入計画の変更を余儀なくされたり、インフラ整備計画に大幅な変更があるのではと推察している。

(都市計画局公共建築企画課・回答)

- 発注予定については、「京都市入札情報館」にて公表しているもので閲覧して頂きたい。
- 今年度第4四半期に、学校体育館防災強化型リニューアル事業を5件程度、発注を予定している。
- 来年度については、予算が確定していないので、事業計画を踏まえた予定として「学校長寿命化計画」「体育館防災強化型リニューアル事業」「市営住宅団地再生計画に伴う更新棟の建設」等を計画している。
- 次年度以降も、積極的な入札参加をお願いしたい。

(当日の意見)

☆ 京都市の財政再建策のその後の進展について、お聞かせ願いたい。

- 前回、協会と意見交換を行ってから約1年経過しているが、本市においても財政改革策について議論を重ね、来年度予算計画についても算定を進めている。市民の安心安全を守る観点からインフラ整備は欠かせないとの認識の下、一定額の公共投資枠を確保しながら、予算の範囲内で実施していく予定としている。個別の事業計画については、発注計画で確認願いたい。

☆ 当協会も、財政改革中の折、「次の担い手確保・育成」に努めるなど事業見直しを進め、新入会員も増えてきている。会員各社も変革期にあり、協会の新しい活動に期待しているものと推測している。京都市が財政改革に向け努力されている中で、長年にわたり「分離発注」を通じ、地元中小企業を支えて頂いていることに敬意を表したい。引続き、企業育成にご支援をお願いしたい。業界はご期待に応え、誠実な施工を通じ、地元発展に貢献していきたい。

(10) 「公共施設のLED化のための簡易ESCO事業」に関するお願い

(協会・事前質問)

☆ 今般、環境政策局地球温暖化対策室より公募のあった「公共施設のLED化のための簡易ESCO事業」に関してCO₂の大幅な削減が重大な社会的課題になっている昨今、京都の電気設備工事業者として、(単に受注機会を要望するのではなく)行政と連携し、カーボンニュートラル推進の一翼を担う機会を、ぜひ、我々に与えて頂き、京都議定書のおひざ元での地元電気工事業者の挑戦を後押しして頂きたい。

☆ 我々は、社団法人の使命として、これを機会に、CO₂削減・地球温暖化対策運動展開の足掛かりとしていきたいと考えている。

(行財政局契約課・回答)

- 本件については、環境政策局の担当部署に要望を伝えておく。
- 令和3年度の庁舎照明のLED化事業に際しては、計画原局が、価格競争のみではなく省エネルギー対策と効果等を判断することとし、公募型プロポーザル方式による契約を選択した。事業者選定に際し、公契約基本条例の趣旨に基づき市内中小企業の受注機会確保に

努め、「構成員の中に市内事業者がいること」「市内業者の施工割合」などを評価項目として事業者を選定したと聞いている。

(当日の意見)

☆ 今回の「公募に参加した故に判ったこと」について、意見を述べたい。

はじめに、地元企業は最初の現地調査協力で貢献できるのでぜひ相談して頂きたい。続いて、照明器具の選定においては、予め技術者である第三者の意見も取り入れて頂き、照明機器の性能だけでなく価格や入手可能性等についてもご検討頂くようお願いしたい。

(11) 「各種工事材料の入手難」と工期への影響について(当日追加)

(協会・当日質問)

☆ 事前予告していないことについて、ご容赦願いたい。

☆ 電気工事業界においても、かつて経験したことのない「材料の入手難」が続いている。この2～3か月の間、電材卸業者からは連日「受注停止」や「出荷停止」の連絡があり、高圧ケーブル・ブレーカ、端子部品などの欠品が広範囲に広がっている。

☆ 各現場においては工期に影響させないために「早期発注」などで最大限努力を続けてきたが、卸業者等が受注自体を停止しており、受注者ではこれ以上の対策が出来ず、今後の工事現場への影響を憂慮している。

☆ 材料によっては、納期回答の目途が立たないものもある。会員には「発注者への速やかな報告、こまめな相談」を呼びかけたい。

☆ 各事業者は、材料の入手難に起因する工期遅延を招いた場合に、工事成績や以後の入札参加での「ペナルティ」を課されるのではないかと懸念しており、今後に予定されている入札参加の判断に影響を及ぼす可能性がある。

☆ 「材料の入手難」と合わせて「納入価格の改定(値上げ)」が予想されている。予定価格の算定に際してご配慮をお願いしたい。

(都市計画局公共建築建設課及び都市総務課・回答)

- まずは、「早い目に適時報告」をお願いしたい。工期調整が出来ない時期まで報告が遅れ「受注者の責による工期遅延」と判定せざるを得ない事態を避けるため、受注者は、電材卸業者との粘り強い交渉と、発注者への適時報告・相談を心がけて頂きたい。
- 入手難の機器・機材等について、出来る範囲で、協会からも情報提供して頂きたい。

閉会挨拶

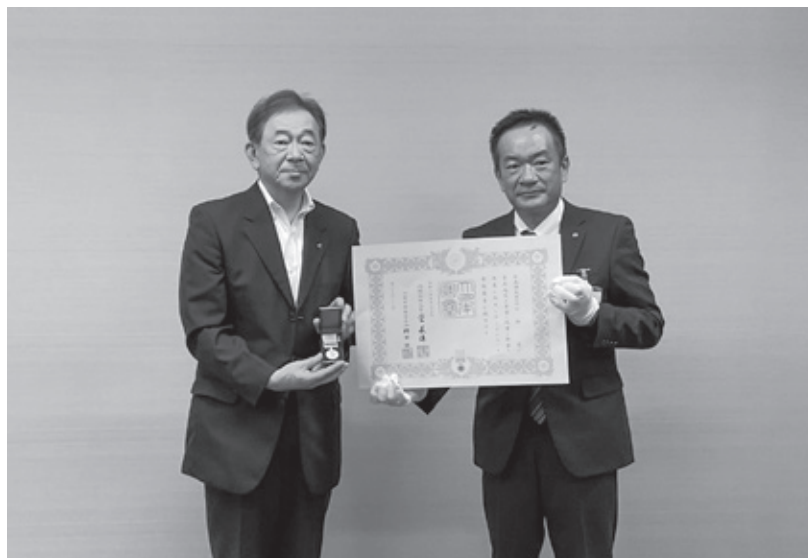
京都電業協会 副会長 小滝 寛

建設業界は、働き方改革、建設キャリアアップシステム、消費税インボイス制度等、諸制度に対応していかなければならない中で、この一か月、「あれが無い。これも無い」と、材料不足の問題が非常に大きくなっております。

本日はいろいろなお話をさせて頂きましたが、各協会員との対話で寄せられた要望を基に、これからも、いろいろなご相談をさせて頂きたいと思っておりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

本日は長時間にわたり、本当にありがとうございました。

令和3年 春の褒章【黄綬】 受章
一般社団法人 京都電業協会 副会長 小滝 寛氏



永年に亘り建設産業の発展等に尽くされたご功績により、褒章を授与されました。
去る令和3年4月29日受章され、7月19日伝達式が執り行われました。
(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により皇居での拝謁が中止となった為、京都府より伝達されました。)

令和3年度 (一社)全国建設産業団体連合会会長表彰 受賞
一般社団法人 京都電業協会 常任理事 田中 繁信氏



建設産業の改善・発展等に尽くされたご功績により、去る令和3年11月9日、表彰されました。

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

■ 第47回通常総会・第17回暴力対策協議会総会(書面決議総会)

今年度の総会においては、新型コロナウイルス感染症防止措置として、法人法第51条に基づく「書面による議決権行使」を用い、各議案に対する議決権行使結果を確認する会議への出席者は必要最小限の人数により行いました。

総会通知日：令和3年4月27日(火) 議案書および議決権行使書を発送
令和3年5月12日(水)正午 議決権行使書の回答期限

総会開催日：令和3年5月12日(水)15:00

場 所：京都経済センター 会議室

出席者：4名(司会・議長・議事録署名人2名)

決議事項：[第47回通常総会]

第1号議案 令和2年度 決算報告承認の件及び公益目的支出計画実施報告の件

第2号議案 役員改選の件

[第17回暴力対策協議会総会]

第1号議案 令和2年度 事業報告承認の件

第2号議案 令和2年度 決算報告承認の件

第3号議案 令和3年度 事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和3年度 予算(案)承認の件

第5号議案 役員改選の件

担 当：総務委員会

■ 重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検

実施日：令和3年11月1日(月)～11月30日(火)

点検先：京都府・京都市内 計26ヶ所

内 容：社会貢献推進事業として所管行政当局様のご協力をいただき、各施設の電気設備の安全点検を会員会社のご協力を得て実施しました。

(誌面P8ページに詳細を掲載しております。)

担 当：公益委員会

■ 行政機関(京都府・京都市)との意見交換会

開催日：令和3年11月8日(月)・12月17日(金)

内 容：電気設備工事の適正施工の確保及び品質向上を目的として、行政機関(京都府・京都市行財政局・京都市都市計画局)との意見交換会を開催しました。

(誌面P13～32ページに詳細を掲載しております。)

担 当：政策委員会

■ 令和4年 新年賀詞交歓会(式典・表彰式)

開催日：令和4年1月12日(水)

会 場：京都経済センター 会議室

内 容：協会新年賀詞交歓会(式典・表彰式のみ)を開催しました。

(誌面P5～8ページに詳細を掲載しております。)

担 当：総務委員会

【主催講習会】（講習会は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底の上、開催しました）

■ 技術力向上講習会「顧客・地域住民に喜んでもらえるこれからの会社と業務の作り方」

開催日時：令和3年3月13日(土) 13:15～16:45

場 所：京都経済センター 会議室 および Web

受講者：22名（講習会場へ直接参加16名・Web(Zoom)からの参加6名）

講師：NPO 法人京都情報研修センター 北野雅史様

CPD単位：4単位

内 容：主な講習テーマを「大転換期の社会環境と労働環境」「ITが果たす役割」「建設業の役割と責任」として講習会を開催しました。

担 当：技術委員会

■ 1級 電気工事(第一次)施工管理技術検定試験 受験対策講習会

開催日時：令和3年5月15日(土)・22日(土)・29日(土) 9:30～16:30

場 所：コープイン京都 会議室・メルパルク京都 会議室

受講者：22名

内 容：「1級電気工事施工管理技術検定試験」第一次検定試験の合格を目指した受験対策講習会を開催しました。

担 当：技術委員会



■ 技術力向上講習会「工事現場の安全確保に関する講習会」

開催日時：令和3年8月28日(土) 14:00～16:30

場 所：京都経済センター 会議室 および Web

受講者：56名（講習会場へ直接参加19名・Web(Zoom)からの参加36名）

CPD単位：3単位

内 容：工事現場での労働災害・公衆災害を未然に防ぎ、安全管理が確保できる適切な施工管理に向け、電気工事業における労働災害の現状・対策等についての講習会を開催しました。

担 当：技術委員会

■ 1級 電気工事(第二次)施工管理技術検定試験 受験対策講習会

開催日時：令和3年9月11日(土)・18日(土) 9:30～16:30

(計2日間講習会および施工体験記述の添削指導)

場 所：京都経済センター 会議室

受講者：26名

内 容：「1級電気工事施工管理技術検定試験」第二次検定試験の合格を目指した受験対策講習会を開催しました。

担 当：技術委員会

■ 技術力向上講習会「雷保護システムの設計・施工マニュアルの解説」

開催日時：令和3年9月18日(土) 13:00～16:30
場 所：舞鶴市商工観光センター 展示交流室 および Web
受講者：49名（講習会場へ直接参加21名・Web(Zoom)からの参加28名）
講師：栗原工業(株) 亀山一久様
CPD単位：4単位
内 容：集合住宅における雷保護対策や雷保護装置の施設に関する内容等についての講習会を開催しました。
担 当：技術委員会

■ 技術力向上講習会「『社員と共に未来を創る職場のレシピ』～電設業界と労働施策総合推進法～」

開催日時：令和3年10月2日(土) 13:15～15:45
場 所：京都経済センター 会議室 および Web
受講者：65名（講習会場へ直接参加20名・Web(Zoom)からの参加45名）
講師：板東嘉子労務コンサルタント 板東嘉子様・綿善旅館 小野雅世様
CPD単位：3単位
内 容：業界が抱える人材確保・育成課題解決の一助とするために、主なテーマを「建設業（電気設備業）の現状と課題について」「社内コミュニケーション構築で重要なポイント」「職場環境の構築の実例 ～若おかみ奮闘記～」として講習会を開催しました。
担 当：技術委員会

■ 技術力向上講習会「現場管理業務のポイント」

開催日時：令和3年11月13日(土) 13:15～16:45
場 所：京都府立中丹勤労者福祉会館 会議室 および Web
受講者：64名（講習会場へ直接参加15名・Web(Zoom)からの参加49名）
講師：栗原工業(株) 亀山一久様
CPD単位：4単位
内 容：現場代理人に必要な現場管理業務（工程管理・事務管理・原価管理・安全管理等）についての講習会を開催しました。
担 当：技術委員会

■ 技術力向上講習会「暮らし×認知症×働く」

開催日時：令和3年12月11日(土) 13:15～16:45
場 所：京都経済センター 会議室 および Web
受講者：35名（講習会場へ直接参加12名・Web(Zoom)からの参加23名）
講師：「若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会 希望の灯り」 下菌誠様
CPD単位：4単位
内 容：高齢化する建設業界において、本講習で認知症についての理解を深めると共に、自分自身や周りが認知症にかかってしまった場合の働き方や会社としての対処法等についての講習会を開催しました。
担 当：技術委員会

【協賛事業】

■ 京都府専門的技術人材緊急養成プロジェクト『電気工事士養成コース』

内 容：京都府主催の雇用型職業訓練「京都府専門的技術人材緊急養成プロジェクト」【電気工事士養成コース】に当協会の会員企業の有志が協力し、新しい試みに挑戦してくださいました。当協会は会員有志の活動に賛同し、電気設備工事業界の「次の担い手の確保・育成」が実現するよう、後方・側方から支援活動を行いました。

担 当：会員有志企業6社

プロジェクト名称：ULTRA MAN 7 PROJECT（略称：UM7）



【共催講習会】

■ 2級 電気工事(第一次・第二次)施工管理技術検定試験 受験対策講習会〔Web講習会〕

主催（一財）地域開発研究所・共催（一社）京都電業協会

内 容：国家資格「2級電気工事施工管理技士」取得のため、試験合格を目指した対策講習会を開催しました。

（協会を通じてWeb講習会への受講申込：14名）

担 当：技術委員会

■ 1級 電気通信工事(第一次・第二次)施工管理技術検定試験 受験対策講習会〔Web講習会〕

主催（一財）地域開発研究所・共催（一社）京都電業協会

内 容：国家資格「1級電気通信工事施工管理技士」取得のため、試験合格を目指した対策講習会を開催しました。

（協会を通じてWeb講習会への受講申込：第一次対策6名・第二次対策4名）

担 当：技術委員会

■ 2級 電気通信工事(第一次・第二次)施工管理技術検定試験 受験対策講習会〔Web講習会〕

主催（一財）地域開発研究所・共催（一社）京都電業協会

内 容：国家資格「2級電気通信工事施工管理技士」取得のため、試験合格を目指した対策講習会を開催しました。

担 当：技術委員会

■ 担い手確保のための啓発活動『～ようこそ！電気設備工事業界へ～』

「次世代を担う若手人材」に電気設備工事業界の魅力を伝え、電気設備工事業界への興味・関心に繋げて頂くために、京都府内の電気工学系の生徒の皆様に対して、現場見学・講習・実技講習を開催しました。

【京都市立京都工学院高校生への活動】

(講習・グループワーク・実技講習)

開催日時：令和3年10月18日(月) 8:50～12:40

場 所：京都市立京都工学院高等学校

参加者：京都工学院高等学校電気専攻科 2年生 30名・教諭、協会役員・青年部会員



(現場見学会)

見 学 日：令和3年11月8日(月)

見 学 先：京都市楽只保育所整備工事建設現場（京都市北区紫野西舟岡町）

参加者：京都工学院高等学校電気専攻科 2年生 30名・教諭、協会役員・青年部会員



【京都府立工業高校生への活動】

(講習・グループワーク)

開催日時：令和3年11月24日(水) 9:40～12:30

場 所：京都府立工業高等学校

参 加 者：京都府立工業高等学校 電気テクノロジー科 2年生 37名・教諭、協会役員・青年部会員



(図面講習・実技講習)

開催日時：令和3年12月8日(水) 9:40～12:30

場 所：京都府立工業高等学校

参 加 者：京都府立工業高等学校 電気テクノロジー科 2年生 37名・教諭、協会役員・青年部会員



青年部会は、今後も高校生等の「次世代を担う若手人材」に対して、電気設備工事業界の将来性・魅力を伝え、担い手不足の解消に繋げていくことを目的とした業界PR活動を実施していきます。

■ 青年部会 第15回総会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の青年部会総会については書面決議による総会を開催しました。

内 容：青年部会の業務運営に対する年次報告及び計画についての審議を図りました。
なお、今後の情勢により開催有無及び開催方法の検討を対応することとなりました。

[令和3年度 事業計画]

- ・ 府内工業高校等への業界 PR 活動（担い手確保のための啓発活動）
- ・ 新年賀詞交歓会 募金活動
- ・ 青年部会総会
- ・ 見学会
- ・ 部会交流会
- ・ ゴルフコンペ

■ 青年部会への新入会募集のご案内

次世代を担う人材の育成と交流を深めることを目的に、青年部会の活動をしております。
ぜひ多くの方の入会をお待ちしております。

対 象：当協会会員の代表者、またはそれに準ずる方

申込方法：入会書類等をお送りいたしますので、当協会事務局(TEL 075-342-0110)へ
お気軽にご連絡ください。

[青年部会 部会員]

(株)アート	松本 昂司	福知山電気(株)	西村 一起
岩田電気(株)	岩田 隆範	富士倉電設(株)	倉井 崇
(株)植田電機	植田 司郎 (部会長)	富士電気工業(株)	小滝 毅
(株)尾形電気工事	尾形 勝治 (副部会長)	北陵電工(株)	山本 直樹
久世電気工業(株)	久世 純也	(株)堀通信	堀 康人 (副部会長)
(株)丹和	谷口 洋史	村井電気(株)	村井 正人
中島電気工事(株)	中島 涼太	森電気工業(株)	森 政博
バスコム(株)	小林 範之 (副部会長)	(株)山添電気	山添 宏明

(社名五十音順・敬称略)

会員の動向

【新入会】

(敬称略)

会社名・代表者	住所・連絡先	入会日 (会員種別)
インターテクノス(株) 代表取締役 加藤 哲男	〒612-8445 京都市伏見区竹田浄菩提院町 309 TEL 075-611-8418 FAX 075-611-8451	令和3年4月1日 (通常会員)
栄光小林電気工事(株) 代表取締役 小林 田巳生	〒601-1113 京都市左京区鞍馬二ノ瀬町 156 TEL 075-741-2604 FAX 075-741-2433	令和3年4月1日 (通常会員)
京都通信特機(株) 代表取締役 山本 肇	〒600-8854 京都市下京区梅小路西中町 36 TEL 075-321-6311 FAX 075-314-8651	令和3年4月1日 (通常会員)
高石機械産業(株) 代表取締役社長 村松 健一	〒604-8831 京都市中京区四条通中新道西入ル TEL 075-802-0171 FAX 075-841-1595	令和3年4月1日 (賛助会員)
(株)たけびし ビル・冷熱システム部 部長 石野 均	〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町 29 TEL 075-325-2133 FAX 075-325-2272	令和3年4月1日 (賛助会員)
(有)K. E. C 代表取締役 黒木 理一郎	〒612-8462 京都市伏見区中島秋ノ山町 134 TEL 075-644-9301 FAX 075-644-9302	令和3年4月21日 (通常会員)
井上(株) 代表取締役 井上 大輔	〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町 3-3 TEL 0773-22-5171 FAX 0773-23-2403	令和3年8月11日 (賛助会員)
(株)E & Eテクノロジー 代表取締役 松本 賢悟	〒601-8205 京都市南区久世殿城町 547-1 TEL 075-963-5770 FAX 075-963-5771	令和3年9月8日 (通常会員)
(株)太陽電気 代表取締役 勝山 茂樹	〒611-0001 宇治市六地藏札ノ辻町 2-2 TEL 0774-31-8309 FAX 0774-33-4445	令和3年10月13日 (通常会員)
(株)ハルテック 代表取締役 野中 治樹	〒622-0042 南丹市園部町栄町 2-18-4 TEL 0771-60-2011 FAX 0771-63-2612	令和3年10月13日 (通常会員)
(株)京電 代表取締役 肥後 庸一	〒610-1106 京都市西京区大枝沓掛町 13-68 TEL 075-925-8134 FAX 075-925-8149	令和3年11月10日 (通常会員)
(株)坂本電気工事 代表取締役 坂本 道之祐	〒607-8482 京都市山科区北花山大林町 69-5 TEL 075-581-1223 FAX 075-581-1292	令和3年11月10日 (通常会員)
(株)キタケン 代表取締役 北 健作	〒612-8491 京都市伏見区久我石原町 3-163 TEL 075-721-2155 FAX 075-791-2156	令和3年12月8日 (通常会員)
(株)平尾電機工業所 代表取締役会長 平尾 憲正	〒604-8846 京都市中京区壬生西檢町 20 TEL 075-313-2374 FAX 075-321-9544	令和3年12月8日 (通常会員)

【再入会】

(敬称略)

会社名・代表者	住所・連絡先	再入会日 (会員種別)
(株)伊藤電気 代表取締役 伊藤 茂成	〒611-0013 宇治市菟道車田 5-5 TEL 0774-23-2023 FAX 0774-22-0708	令和3年12月8日 (通常会員)

【代表者変更】

(敬称略)

会社名	新任者	前任者	変更日
三菱電機住環境システムズ(株) 関西支社 京滋支店	支店長 藤村 賢一	支店長 江上 義一	令和3年4月1日
日東工業(株) 京都営業所	所長 林 将之	所長 木村 剛	令和3年4月1日
能美防災(株) 京都支社	支社長 浦谷 守	支社長 馬場 貴志	令和3年4月1日
(株)たけでん 京都営業所	所長 小川 真史	営業部長 谷口 勇人	令和3年8月1日
キノンビクス(株)	代表取締役社長 福永 悟	代表取締役社長 齊藤 隆夫	令和3年9月2日
(有)青葉電気工業所	代表取締役社長 堀口 陽平	代表取締役 堀口 信樹	令和3年10月1日
福知山電気(株)	代表取締役 西村 一起	代表取締役 西村 洋子	令和3年10月1日
(株)植田電機	代表取締役社長 植田 司郎	代表取締役 植田 隆夫	令和3年11月1日
京都精工電機(株)	代表取締役 井上 哲次	代表取締役社長 浦出 義次	令和3年11月1日

【事業所移転】

会社名	新住所	移転日
カザマ電気工業(株)	〒615-8221 京都市西京区上桂東ノ口町 199 (TEL・FAX 変更なし)	令和3年12月1日

【社名変更】

新会社名	旧会社名	連絡先	変更日
パナソニック(株) エレクトリックワークス社	パナソニック(株) ライフソリューションズ社	(所在地・TEL・FAX 変更なし)	令和3年10月1日

(協会に連絡いただいた分のみ掲載しております。)

寄る歳に毎夏猛暑疲れ倍 の一

ワクチンに寄り添う妻の安堵笑み 紫峰

孫の顔見に寄る理由にトマト買い 爽風

◆省かれて怒りし胡瓜反り返り 山本

清流の若鮎挑む川面かな 進藤

梅雨暗れ間散歩に挑む吾もまた の一

◆○繋ぐ手の影の長さや秋の暮れ 信吾

暑くても寄り添って寝た蚊帳の頃 爽風

鉢植の桃が実をつけ寄りかかる 佐伯

天の川寄り添う二人もディスプレイス 進藤

マスク着け挑む炎暑の五条坂 桜井

いつの間にネクタイ省く夏姿 の一

朝焼けの霊峰仰ぐ雲の上 信吾

◆…最多得票句
 ◆…準最多得票句
 ◎…ゲスト講師 服部友彦氏による特選句
 ○… 〃 準特選句

追記

コロナ禍でこの一年も投句のみの活動となりました。でも会員の皆さんには多くの佳句を投句頂き、世話人一同感謝申し上げます。

皆さんの句を拝見していると、やはり新型コロナの大きな影が感じられますが、一方で、それには負けていないよという元気な生活ぶりも見えて来て、心強く思いました。

（指導願っています俳句同人誌「幡」の編集長 服部友彦氏の、第一九六回句会に寄せて頂いた講評のごく一部を記載させて頂きます。

「コロナ禍の兼（もり）作句 炬燵中（の一）」はお上手な句です。とりわけ兼（もり）作句の造語が素晴らしい。炬燵中の中も適格な言葉で作者のおかれた状況がよくわかります。

一緒に世話人を務める進藤さんとよく話すのですが、人から選句（註…気に入った句として選んで頂くこと）されたり、ほめてもらおうと嬉しいものです。そしてそれは、自分で良いと思っていた句とは違う句である事が多く、とても勉強になります。

コロナ収束の上は、にぎやかな対面の句会を開催したいものです。

山科 爽風

俳句同好会参加者

- 三和電気工業(株) 小野 俊一 (の一)
- (株)昭和電工社 進藤 久和
- 東邦電気産業(株) 佐伯 希彦
- (株)日本電気 松井 章 (紫峰)
- 北陵電工(株) 山本 利廣
- 宮本電気工事(株) 宮本 みつへ
- 山科電気工事(株) 山科 隆雄 (爽風)
- 協会 前事務局長 巽 信吾
- ゲスト講師 服部 友彦
- (投句) 事務局 桜井 舞子

【同好会入会のご案内】

「ルフ同好会」

会社の代表者様をはじめ一般社員の方までどなたでもまた複数人数でも参加いただけます。

皆様からの多数のご参加をお待ちいたしております。

「俳句同好会」

初心者を含め皆様からの入会をお待ちしております。ぜひお気軽にご参加ください。

「一人会等、各種お問い合わせは協会事務局までお気軽にご連絡ください。」

俳句同好会

代表世話人 小野のー

世話人 山科爽風

世話人 進藤久和

一般社団法人京都電業協会の俳句同好会も回を重ねて、第百九十七回を開催する事ができました。

令和二年一月の例会を開催した以降は、新型コロナウイルスの影響を受けて、投句のみでの句会を開催しています。

みんな最初は初心者でした。経験者を含め入会をお待ちしています。

第百九十八回 令和三年 一月二十九日【投句】

兼題 「新型コロナ」「香り」「雲」「土」

兼題句

◆土さわり手先のかじかむ大寒や 宮本

鬼は外早く出ていけ新コロナ 紫峰

◆コロナ禍にこっそり旅して松葉蟹 爽風

落ち葉舞い小犬追いかけて吹き溜まり 佐伯

梅香うめがかに合格祈り天満宮 紫峰

テイクアウト庭の茗荷で色を添え 爽風

◆宅飲みでゆず酒の香り届きたい 桜井

◆寒空の雲を眺めて足湯かな のー

○土匂う三蜜さけて散歩道 進藤

早朝の散歩で碎く霜柱 信吾

底冷えか京の雲たれ肩つまる 佐伯

澄み渡る雨の香りや春の朝 進藤

黒雲の洩れ陽が照らす冬の海 信吾

凍てし日に心和ます福寿草 紫峰

初詣マスク越しに香を嗅ぎ 山本

雲間割き初富士照らす希望の陽 桜井

◆餅つきや故郷の土間なご和む汗 のー

ひっそりと顔をのぞかす土筆の子 信吾

早く行け新型コロナ春近し 宮本

駅を出て我家いえはすぐそこ金木犀 爽風

温かき土の寝蔵で冬を越し 山本

◆摺る墨の香り初書き酔しれて 佐伯

◎コロナ禍の菓ごもり作句炬燵中 のー

第百九十七回 令和三年 七月二十日【投句】

兼題 「寄る」「省く」「繋ぐ」「挑む」

兼題句

紫陽花が繋る子らの通学路 佐伯

炎天下寄りし木陰に汗引かず 山本

お彼岸の手間暇省かずおはぎかな 進藤

◎吹く風に秋の気配が忍び寄る 信吾

雷響に歩くふたりも並び寄る 桜井

コロナ禍に怒涛の金で挑む夏 紫峰

花鉢の水遣り省け梅雨も良し 爽風

○嬌声に負けじと挑む蟬時雨 山本

鉾立ちて願いを繋ぐ祇園雛子 桜井

八百屋さん西瓜が店を挑みとり 佐伯



ひかりアドバイザーグループ
ひかり社会保険労務士法人

<https://hikari-sharoushi.com>

京都市中京区御幸町通夷川上る松本町569 北大興ビル3階

TEL.075-254-1236(代) / FAX.075-254-1237

明るい笑顔で、お客様に
安心・安全な暮らしを
お届けします

ISO9001.認証取得
ISO14001.認証取得
BCP 取得

主な事業案内

- 電気設備工事
- LED照明工事
- 太陽光発電設備工事
- 電話・情報通信設備工事
- 消防設備工事
- 空調・換気設備工事



株式会社 アート

住所：〒625-0020 京都府舞鶴市小倉67-1

TEL : 0773-62-1579 FAX:0773-64-7884

URL : <http://www.kkart.co.jp>

安全で質の高いサービスの提供に尽力し、
地域社会への貢献を目指します



ISO9001 認証取得 / KES ステップ1 登録



株式会社 植田電機

〒612-8279 京都市伏見区納所北城堀 3 の 5
TEL 075-631-1112 / FAX 075-631-3379
URL <http://www.ueda-denki.co.jp>
MAIL info@ueda-denki.co.jp



株式会社 京阪電気商会

ISO 9001 認証取得
JQA-QM 9742

〒602-0025

京都市上京区上立売通室町西入上る裏風呂町368番地1

TEL 075 - 432 - 5951 (代)
FAX 075 - 432 - 5961
E-mail: keihan-e@aurora.ocn.ne.jp
<http://keihandenki.co.jp>

Showa
denkoshi
Co.,Ltd.



株式会社 昭和電工社

〒606-0846
京都市左京区下鴨北野々神町33番地
TEL: 075-781-9145
FAX: 075-781-9148
URL: <http://sho-den.co.jp>
E-mail: koujibu@sho-den.co.jp

各種電気工事 設計・施工



株式会社 大興電気

〒601-1346 京都市伏見区醍醐東合場町39番地
TEL 075-571-7733 (代)
FAX 075-572-3107



品質マネジメントシステム
ISO-9001 認証取得

営業種目
電気設備工事
通信設備工事
電車線工事
送電線工事

私たちは情報通信技術で 地域に安心をお届けします

弊社は
企業や大学、病院、官公庁、寺社など、さまざまなお客様を、これからも
情報ネットワーク・コンピュータ・電気設備の総合力で支え続けます。

設立 1952年

DDK 大和電設工業株式会社

WEB <http://www.d-d-k.co.jp>

京都本社 京都市南区吉祥院池ノ内町83

TEL (075)672-3311


滋賀支店 滋賀県草津市草津2-12-25

TEL (077)564-3322

大阪支店 大阪市北区天満4-5-7 第一広垣ビル

TEL (06)6354-8833



 東邦電気産業株式会社

TEL 075-811-7131

東邦電気産業株式会社 電気工事



人と電気をつなぐ



ニシムラ株式会社

本社 / 〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町32
TEL : 075-681-2331 FAX : 075-671-1041
<http://www.nsmr.co.jp>

情熱  創造空間企業
日本システム工業株式会社



代表取締役 小野 昭

URL <https://www.ns-industry.co.jp/>

【京都本社】 〒601-8316 京都府京都市南区吉祥院池ノ内町8番地
TEL(075)681-4488 FAX(075)672-4455

【滋賀支店】 〒520-2143 滋賀県大津市萱野浦17番1号
TEL(077)545-8844 FAX(077)545-8882

【大阪支店】 〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町14番33号 OMビル405号
TEL(06)6372-1166 FAX(06)6372-1199



Panasonic

提案に役立つ、実務に使える。
電材にもっと
強くなれる情報サイト

業界注目のトレンド情報や、明日からすぐに使える提案資料、基礎から学べる試験対策動画まで。新しい提案のヒントになる、さらなるスキルアップにつながる、そんな電材業界のみなさまをバックアップする、さまざまなコンテンツを発信していきます。

 **DENZAI TERASU**

電材の未来を、照らしだす。

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 京都電材営業所 〒601-8127 京都府京都市南区上鳥羽北花名町34番地 TEL.075-661-5141

まずはアクセス



<https://www2.panasonic.biz/Is/terasu/>



FUJI ELECTRIC INDUSTRY

富士電気工業株式会社

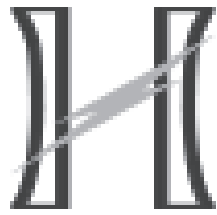
URL <http://www.fujidenki-kk.co.jp>

↑ ↑ ホームページをリニューアルしました ↑ ↑

代表取締役社長 小滝 寛

【京都本社】 〒601-8106 京都市南区上鳥羽北中ノ坪町8番地の5
TEL 075-672-8581 FAX 075-672-8571
E-mail fdk@fujidenki-kk.co.jp

【東京支店】 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-21-1 桐生ビル7F
TEL 03-5391-6015 FAX 03-5391-6017



北陵電工 株式会社

建設業登録（特-30）第23393号

電気・消防・空調換気設備工事設計施工

～安全に 確実に
そして親切施工～

住 所 〒603-8142
京都市北区小山北上総町29番地

E-MAIL info@hokuryo-d.jp

TEL・FAX (075)495-8881・(075)495-8882

U R L <https://hokuryo-d.co.jp/>

最新技術で未来へつなぐ

京都府知事許可(特-30)第8410号



株式会社 堀通信

電気設備部(電気工事)
アクセス事業部(通信・IT事業)
開発営業部(OA機器 販売・保守)

本社 福知山市字天田391番地の乙 TEL 0773-22-1120(代)

新オフィス

HORI ICT LABO 福知山市字天田530番地22 TEL 0773-22-1220(代)

大阪支社 大阪市北区堂島1-6-20 TEL 06-6452-0222(代)

堂島アバンザ10F

地域に根ざした、
確かな技術、
確かなサービス

ISO9001 / ISO14001 認証取得企業

受変電・各種電気工事のご用命は…

岡崎電気株式会社

TEL 075-314-1158
〒600-8843 京都市下京区朱雀内畑町7 FAX 075-314-1382

www.okaden.kyoto.jp

各種電気設備工事の設計施工・オール電化工事
情報通信工事・電化リフォーム工事

株式会社 オリジナル電設

京都本社
〒604-8432 京都市中京区西ノ京南原町53番地3
TEL 075 (803) 4681 FAX 075 (803) 4684

滋賀営業所
〒520-0232 滋賀県大津市真野1丁目9番3号
TEL 077 (571) 3660 FAX 077 (571) 3662
URL: <http://www.oriden.net>
E-mail : oriden@nike.eonet.ne.jp

電気・水・空気のコーディネーター
電設資材・空調機器 総合卸商社

株式会社 京榮商会

本社 京都市下京区河原町通松原下ル難波町412番地
TEL 075-341-4151(代) / FAX 075-351-0849

奈良 奈良市南京終町1丁目81の3
TEL 0742-61-5101(代) / FAX 0742-61-0088

滋賀 栗東市出庭531番地3、533番地16
TEL 077-553-3251(代) / FAX 077-553-3256

橿原 橿原市曾我町29番地の2
TEL 0744-23-8211(代) / FAX 0744-23-8278

宇治槇島 宇治市槇島町十一・96番地21
TEL 0774-24-0881(代) / FAX 0774-24-0886

宇治槇島 宇治市槇島町十一・96番地21
商品センター TEL 0774-24-0881(代) / FAX 0774-24-1383

ホームページ
<http://kyoeishokai.com>

「喜び」を創り出す
五島電気建設株式会社

事業内容

交通信号機設備一式
道路照明設備一式 建柱工事
架線(外線)工事 ケーブル地下埋設工事
高圧受変電設備
屋内配線工事等電気設備工事一式
防球ネット工事
その他土木工事一式

〒610-1102
京都市西京区御陵大枝山町五丁目34番地5
TEL: 075-957-3800
FAX: 075-955-2640
E-mail: paul@fiveislands.jp
<http://www.fiveislands.jp/>

電気設備工事・設計施工



三和電気工業株式会社

本社

〒612-8463
京都市伏見区中島御所ノ内町36番地
TEL:075(602)4361(代表)
FAX:075(602)7040

滋賀支店

〒520-2143
滋賀県大津市萱野浦17番1号
TEL:077(544)4361(代表)
FAX:077(544)4109

<http://www.sanwadenki-kogyo.co.jp/>
ISO9001:2000 認証取得 (JQA-QM8106)

SHODEN

未来を見つめ
ビジョンをかたちに

昭電工業株式会社

電気工事 設計・施工
3DCADモデリング業務

【本社】

〒624-0913 舞鶴市字上安久135番地の1
TEL:0773-75-1726 FAX:0773-76-5569
E-mail: shouden-m@proof.ocn.ne.jp

【福知山営業所】

〒620-0851 福知山市長田大野下2763番地の11
TEL:0773-27-3936 FAX:0773-27-3935
<http://www.syouden-k.co.jp>

創業60年以上の信頼と実績

高崎電機工業株式会社

電気設備・空調設備工事



〒604-0803
京都市中京区竹屋町通堺町西入和久屋町108番地
TEL:075-222-1414 FAX:075-222-0954
e-mail: info@takasaki-e.co.jp



光星電工株式会社

電気工事請負 受変電設備低圧屋内外配線

発電機信号 自動火災報知機 電気時計

放送 TV共聴 電話 中央監視

その他一般電気工事の設計及び施工

各種計装工事 太陽光発電工事

mitubosi

〒604-8435
京都市中京区西ノ京三条坊町22
TEL 075-802-4111
FAX 075-812-0902
E-mail mtbs-h@ares.eonet.ne.jp

創業明治26年
地元京都で育てて頂いて128年



YAMASHINA
ELECTRIC CONSTRUCTION

www.yamashina-denki.jp

ISO9001
認証取得

電気設備工事・設計施工

山科電気工事株式会社



京都市中京区夷川通東洞院西入 〒604-0852
TEL.075-231-0223 (代)・FAX.075-231-1851



株式会社 洛南エンジニアリング
RAKUNAN ENGINEERING

<https://www.rec2000.co.jp>

〒611-0013

京都府宇治市菟道田中34-5

Tel : 0774-22-6357

Fax : 0774-21-4112



一般社団法人京都電業協会 賛助会員

因幡電機産業(株) 近畿電設統括部

井上(株)

(株)遠藤照明 京都営業所

カワイ電線(株)

キノンビクス(株)

(株)京栄商会

京都精工電機(株)

京都電業(株)

湖睦電機(株)

(株)新岩村電機製作所

高石機械産業(株)

(株)たけでん 京都営業所

(株)たけびし ビル・冷熱システム部

(株)田中電機製作所

塚本避雷針工業(株)

ツルタ電機(株)

東芝ライテック(株) 京滋営業所

鳥居電業(株)

内外電機(株) 京都営業所

ニシムラ(株)

日東工業(株) 京都営業所

ニッタン(株) 京都支店

日本電設工業(株) 大阪支店 京都営業所

能美防災(株) 京都支社

パナソニック(株) エレクトリックワークス社 京都電材営業所

阪和電設(株) 京都営業所

(株)ほりでん

三菱電機住環境システムズ(株) 関西支社 京滋支店

(株)三星電機製作所

名神電機(株)

矢崎エナジーシステム(株) 大阪支店

(株)リキデン

(五十音順)

当協会では上記32社の関連会社に賛助会員として入会いただき、ご協力をいただいております。

編集後記

京都電業協会広報誌第 71 号を発刊するにあたり。

本来であれば、令和 4 年新年賀詞交歓会特集号として発刊する予定でしたが、一昨年から続くコロナ過の中、今般の社会情勢を鑑み賀詞交歓会は人数を限定しての式典と表彰式のみで開催となり、京都府・京都市様との意見交換会の要旨と各委員会の活動報告を主に掲載することとなりました。

新たな活動として「担い手確保の為の啓発活動」の取り組みを進め、関係各所のご協力を得、協会の事業として軌道に乗りつつあります。

詳しくはホームページにも掲載していますのでご覧ください。

会員企業の皆様、ご意見ご要望等がございましたら事務局までお願いします。今後の活動に反映させていただきますのでよろしく願いいたします。

又、今期、通常会員・賛助会員併せて 15 企業の新入会員・再入会員を迎えることが出来ました。

ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

総務委員長 山本利廣

協会広報誌 VOL.71 2022.02

編集発行人 一般社団法人京都電業協会
総務委員会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町 78
京都経済センター4 階 419 号室

T E L 075-342-0110

F A X 075-342-0150

E-mail office@dengyo-kyokai.kyoto

U R L <https://www.dengyo-kyokai.kyoto>



(QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です)